

くしろお試しワーキングホリデー（北海道釧路市）



基本情報



北海道の東部に位置する釧路市は、「釧路湿原国立公園」と「阿寒摩周国立公園」の2つの国立公園を有するひがし北海道の中核・拠点都市です。夏場の平均最高気温が約21℃と冷涼な気候や恵まれた自然環境、一定程度整った都市機能とともに日本有数の「避暑地」としても注目されています。

プログラム

北海道外にお住まいの方を対象に、2週間実際に働きながら釧路市に滞在いただき、地域の方との交流や学びを通じて、くしろの魅力に触れていただくプログラムとなっている。

受入企業については、農業・劇場・ホテル・デザイン・自動車整備の5つの中から選択してもらう。

宿泊場所については市で手配を行い、宿泊代についても市で負担する。また、居住地からの交通費に関して、最大25,000円の補助が利用できる。

成果

制度を通じた移住者の獲得に至ってはいないものの、今まで当市を知らない・来訪したことがなかった方に対するプロモーションを図ることができたほか、地域との継続的な関わりが見込めそうな人材の発掘を行うことができています。

また、参加者の中には自主的に再訪問している方や、市で募集している「地域おこし協力隊」に応募する方もおり、リピーターの確保につながっている。

【参加実績（令和6年度）】

参加者：5名（定員6名） 申込者：12名

【参加実績（令和5年度）】

参加者：3名（定員3名） 申込者：7名

就労内容・イベント内容

【業種】

農業、劇場、ホテル、デザイン、自動車整備

【仕事内容】

農業に関すること（ワインブドウの栽培管理・収穫、牧場の手伝・子牛の哺育 等）、踊り手・木彫り制作等のお手伝い、サービススタッフ（レストラン等）、裏方業務（客室清掃・洗い場等）、デザイン・ライティング業務、自動車整備

【交流イベント内容】

湿原散策、猛禽類医学研究所バックヤードツアー（秋季）
ワカサギ釣り体験など（冬季）



参加者の声

・牛乳がどのように取られているのか、酪農の裏側を実際に自分の目で見る事ができ、当たり前のようにお店に置いてある乳製品はあれだけ大変な労力の上に成り立っているのだと、食に対するあり方や見方も変わったように思います。私たちにどうしたら楽しんでもらえるかをたくさん考えてくださった従業員の方にはとても感謝しています。出会えてよかったです。（20代・女性）

・酪農とワインブドウ収穫を体験させていただきました。どちらも私は経験したことのない業務だったので、とても多くのことを学ぶことができました。また、受入企業の方々が丁寧に優しく教えてくださったため、前向きに楽しく仕事をする事ができました。（20代・男性）

・釧路を飛び出し、道東の様々なクライアント先にお邪魔させていただき、刺激や発見の多い日々でした。そして、釧路在住のデザイナーさんとチームでプロジェクトが出来たのが、とても貴重な経験になりました！（30代・女性）



基本情報

岩見沢市は、北海道のほぼ中央、に位置する南空知の中心都市。札幌や新千歳空港から車で約1時間とほどよい近さで、道内どこへ行くにもアクセス良好なまちです。

郊外には田園風景が広がり、豊かな自然と美しい農村景観をもつ一方、JR岩見沢駅を中心に市街地が形成され、ショッピングストアや飲食店、医療や福祉施設など、生活に必要な機能がひと通り揃ってます。

プログラム

米や小麦、玉ねぎ、花卉の栽培が盛んな岩見沢の基幹産業である農業をはじめ、空知ワインを代表する宝水ワイナリーでのワイン製造や市内外から多くの観光客が訪れる「ログホテルメープルロッジ」内のレストランで働くことで、岩見沢のまちや、そこで暮らす人々について知ってもらいたいと本事業を企画しました。

成果

これまで岩見沢に訪れたことがなかった人や岩見沢を知らなかった人に、岩見沢市の魅力や住みやすさを知ってもらうことができました。まちのPRと一言でいっても、これまで関わりのなかった人とまちが繋がるのは難しいことですが、ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、新しい出会いを得ることができました。関係人口の創出に繋がるものであり、参加者の方と地域の方々との交流を通じ、より充実したワーキングホリデー体験となっています。

【参加実績（令和6年度）】

参加者：2名

※新型コロナウイルスの影響によりR2～R4は事業中止

就労内容・イベント内容

○就労内容

【業種】

農業、製造業、サービス業

【仕事内容】

野菜収穫、花卉収穫、
畑整備、ワイン醸造準備、
レストラン業務等

○イベント内容

百餅祭り、岩見沢神社例大祭等

参加者の声

○ 北海道らしい豊かな土地と雰囲気の良いまちでした。駅周辺の雰囲気もよくとても楽しく暮らせました。まちのみなさんが温かく、心がぽかぽかしました（22歳・男性）

○ とても住みやすかったです。コンビニ、スーパー、服屋、飲食店までなんでもあったので、何の不自由なく過ごすことができました。また、少し離れれば豊かな田園風景になるので、心を落ち着かせてのんびり過ごすことができました。何より人の良さを感じました。就業先の方々だけでなく、お祭りの屋台のおじさん、居酒屋の店長、サウナで一緒になったおじさん、市役所のみなさん、本当に優しく温かかったです。東京ではできない人との交流ができました。（23歳・男性）



羊のまち・しべつ ふるさとワーホリ（北海道士別市）



基本情報



士別市は、北海道北部の中央に位置し、道立自然公園「天塩岳」をはじめとする山々や北海道第2の大河「天塩川」の源流域を有する水と緑豊かな田園都市です。

“羊のまち・しべつ”として、高品質なサフォーク種のめん羊（ジンギスカンでおなじみ）を生産しており、まちおこしのシンボルとなっています。

プログラム

「羊のまち・しべつ ふるさとワーキングホリデー」の基本コンセプトである、人との交流・地域との交流を柱に、①まちなかの賑わい部門、②農業の部門にて、地域の特色を活かしたプログラムで実施しています。

成果

受入事業所側の地域との交流の創出など、就業面以外での工夫もあり、受け入れた方全員から地域との繋がりを持つ機会があったことへの高評価を得られた。参加者のなかには、「若年層に対する地方への関心を促し、地方の課題に向き合うことで、自らの存在価値を地方に見出す」など、士別市への移住を推進する今後の取り組みのモデルになり得る成功例も見られた。

■実施 R5.7~R6.9（2年） 参加者 R5:8人、R6:3人

就労内容・イベント内容

- ①ゲストハウス・カフェバーの運営補助（清掃、チェックイン受付、調理補助ほか）
- ②地域交流（イベントへ出店、イベント立案・運営）
- ③空き家リノベーション

参加者の声

○受入事業者の方をはじめ、多くの地域の方々が時間を割いて、士別市や近隣を案内してくれました。また、ゲストハウスで開催されたイベントやカフェバーに訪れるお客様との交流も非常に印象に残っています。地元の方々や常連のお客様との会話は、私にとって貴重な体験となりました。滞在期間は1ヶ月と短かったですが、士別市の実際の姿に触れ、漠然としたイメージから地域の魅力をしっかり感じることに繋がりました。ふるさとワーホリの一番の良い点は、地域の「等身大の姿」を感じられることだと思います。百聞は一見にしかずという言葉があるように、短期間でも現地を生活の拠点にすることで、さまざまなことを肌で感じることができ、実際にワーキングホリデーに参加した人にしか分からない貴重な経験だと思います（10代・女性）

○士別の色んな方と交流させていただいたり、普段できないような古民家DIYなど色んなことを経験させていただいてとても楽しかったです！（20代・男性）



ひまわり時間プロジェクト「まちのインターン」(北海道北竜町)



基本情報



北海道北竜町は北海道の北西部に位置する人口約1,600人の小さな町です。

基幹産業は農業ですが、生産額では建設業も大きな産業です。

夏にはひまわりを主とした観光が盛んな町です。

プログラム

ひまわりのように温かく前向きな人が多いまちですが、人口減少による担い手不足という大きな課題に直面しています。

夏冬の仕事量の繁閑があるけど人手は必要。そんな課題を解決すべく「ひまわり時間プロジェクト」と名付け、新たな仕組みで人手解消を行おうと動き始めました。

期間中は、

- ・地方のリアルを感じてやりがいを経験してもらう。
 - ・普段出会わない人たちと出会える。
 - ・業界・業種分析に役立つ経験が出来る。
- 人手不足解消だけでなく、北竜町や町の人、地域を知ってもらう時間も大切にしました。



成果

移住や就業に結びついた例はまだありませんが、期間後に遊びに来てくれた方や、受入事業者と交流が続いている方もいます。

都市部の若い方が地域を訪れる貴重な機会を創出でき、受入事業者にも自治体にも大きな刺激となっている。

■令和6年度参加者 10名

就労内容・イベント内容

【業種】

農業、建設業、行政

【仕事内容】

農作物・花収穫、農作物・花選果、施設管理、書類作成、写真整理、清掃、情報発信分析・提案



参加者の声

・農業という食のイメージが強くなるが、花の生産者の方に出会えたのはよかった。仕事自体だけでなく、人について知ることができて良かった。ガチガチに仕事という感じではなく、皆さんフランクに受入れて下さったので、やりやすかったしリアルを知れた。

・自分の住んでいる地域とはほとんど違う環境で生活することやお仕事を体験させていただいたことで、地域の良さ、悪さなどが体験できたこと。仕事だけの関係に終わらず、多岐にわたる仕事の方や住んでいる地域の方とお話できたことが良かった。



日本文化を伝えてみませんか？（北海道東川町）



基本情報

東川町は、北海道のほぼ中央に位置する、人口約8000人の町です。東部は山岳地帯で大規模な森林地域を形成し、日本最大の自然公園「大雪山国立公園」の区域の一部になっています。そんな東川町は、全国的にも珍しい、北海道でも唯一の、上水道の無い町です。

大雪山の大自然が蓄えた雪解け水が、長い年月をかけて地中深くにしみ込み、ゆっくりと東川町へ大切に運ばれてくるから。大自然の恵みを、東川町の住民がおすそ分けしてもらっているのです。

プログラム

東川町には、韓国、台湾、中国、タイ、ベトナム、モンゴル、インドネシア、マレーシア、ウズベキスタンの10ヶ国より、延べ3,576人の留学生が日本語を学び、巣立っていきました。現在も多くの留学生が、日々日本語を学んでいます。日本語を学びに来る留学生の方々と交流するという貴重な経験ができます。自ら文化の違いなどを肌で感じてみてください。

成果

- ・ワーホリで参加した方が引き続き地域おこし協力隊として採用となり、町内で活躍している。
 - ・現在町として道外を中心に様々なイベントに出展しており、それをきっかけに本事業参加し、深い関係性を生み出すきっかけとなっている。
- 令和6年度参加者 8名

就労内容・イベント内容

【業種】ティーチアシスタント

内容：日本語学校に通う留学生に対する日本語指導のアシスタント及び日本文化を共に学ぶ。

【仕事内容】

日本語授業の教員補助、課外学習の補助でテキスト、例文の模範や会話指導の相手、自習室での質問対応、テストの準備など



参加者の声

○ティーチアシスタントとして自分の英語力活かしながら、将来北欧で生活するため、まず北海道生活体験ができ、凄く良い経験になりました。東川町内でも知り合いも増え、また来た際には新たなコミュニティに参加したりしながら生活したいと思いました。

○以前東川町のイベントに参加したのちコロナ禍に入り、大学卒業の年に一度訪れたいと思い、ふるさとワーホリに参加させていただきました。都会とは違い、ゆっくりした時間の中で生活できた経験は本当に貴重な時間になりました。



基本情報

北海道浦河町は、四季折々の恵みをもたらす太平洋と雄大な日高山脈に抱かれており、海洋性気候の影響で、「涼しい夏」と「雪の少ない冬」という北海道の中でも住みよい自然環境に恵まれています。

また、馬と関わる歴史が古く、現在も約200の牧場に3,000頭以上のサラブレッドが駆け回る「馬のまち」です。

プログラム

- メインターゲットの大学生の長期休暇に合わせ、8～9月、2～3月に実施している。
- 宿泊費と交流会等参加費については、町が負担している。
- 「馬のまち」浦河町ならではのサービスとして、乗馬体験をサービスとしている。その他に、町職員による町内案内や、地域の方との交流会を開催している。

成果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者等が浦河町に興味を持ち、後に本事業以外でも訪ねる方もいる。

本事業が関係人口の拡大に寄与しているものであり、将来的な移住者の掘り起こしやファンづくりに寄与していると考えられる。

【参加実績（令和6年度）】
参加者：24名

就労内容・イベント内容

【業種】

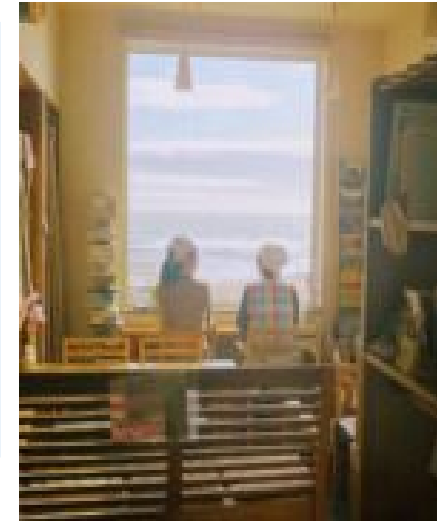
飲食、旅館・ホテル、観光等

【仕事内容】

ホール、パン販売補助、接客、掃除、地元の高校と連携した地域づくりに関連したワークショップの開催、広報、ドレッシングなどの製造補助、外国人の通訳サポートや交流イベントの参加等

参加者の声

- 温かい人々の出会いに恵まれ、とても充実した時間を過ごさせていただきました。貴重な体験の場をありがとうございました。
- プログラム、交流会などワーキングホリデーをより良いものになるようにと尽力して下さった役場の皆さんとはじめ、受入れてくださる事業者さん、町の方々のおかげで浦河町が大好きな町になりました！絶対また帰ってきます！
- お仕事でスタッフさんと話したり、ゲストハウスにいる大学生と話すことができ、楽しかったです。毎日山も海も見ることができて、心が洗われました。普段と全く違う生活ができ、良い経験になりました。
- 交流会から体験乗馬など、貴重な体験をさせていただきましたありがとうございました！！



働きながら、リアルな広尾暮らし～広尾町ふるさとワーホリ2023～（北海道広尾町）



基本情報



北海道広尾町は十勝の最南端に位置する人口約6,000人のまち。
海・山・川の豊かな自然に恵まれ、漁業・酪農を中心とした一次産業や、ノルウェー・オスロ市から認定された日本唯一のサンタランドが特徴です。
季節ごとのおいしい食も堪能できます。

プログラム

漁業・農業・林業など第一次産業に関連する事業所や、広尾サンタランドの観光案内所などが主な受入先です。

広尾町ならではの仕事に従事しながら、休日は昆布干しや牧場での搾乳・餌やりといった産業体験、漁師のお母さんに教わる料理教室など、ご希望に応じて様々な体験プログラムをコーディネートします。



成果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、「広尾町を再訪した」、「事業所・住民と連絡を取り合う関係が続いている」、「イベント等で事業所の出展ブースを訪問した」などの声を聞いており、本事業が関係人口創出の一助となっていると考えています。また、参加者の多くは大学生・社会人などの若い世代であり、これからを担う世代に対し、広尾町の知名度向上が図られていると感じています。



【参加実績】

令和4年度 5名（受入先：4事業所）
令和5年度 5名（受入先：2事業所）
令和6年度 4名（受入先：5事業所）

就労内容・イベント内容

【業種】

水産加工業、林業、製造業、観光業、サービス業、港湾荷役業 など

【仕事内容】

水産品・木材等の製造加工、種苗育成・出荷作業、荷役設備オペレーション、観光案内・接客販売、カフェ接客・調理 など

【体験メニュー（休日）】

一次産業体験、料理教室、地域のイベント（お祭り等）への参加 など



参加者の声

- 実際に体験するからこそ得られる知識があったりしました。参加した地域だからこそ体験できるプログラムがあり、大変満足する内容でした。（29歳・女性）
- 現地でも様々なことをサポートしていただき、参加した地域ならではの体験プログラムが充実していて、積極的に参加したことで、地域の方々と交流できる機会があり嬉しかったです。（22歳・女性）



活動イメージ（2週間のプログラムの場合）

1 週目	DAY1	DAY2	DAY3	DAY4	DAY5	DAY6	DAY7
AM	到着	就労	就労	就労	就労		町内観光
PM	開始MTG	"	"	"	"	酪農体験	"
夜							
2 週目	DAY1	DAY2	DAY3	DAY4	DAY5	DAY6	DAY7
AM	就労	就労			就労	就労	終了MTG
PM	"	地域のイベントに参加			"	"	出発
夜			懇親会				

大自然でのワーホリ～知床世界自然遺産地域の人とともに働く～（北海道羅臼町）



基本情報



北海道羅臼町は、人口約4,200人。小さいながらも、世界自然遺産知床に代表される自然環境に囲まれた町です。前浜は豊漁の海と言われるほど、一年を通して多くの魚種が水揚げされます。休日は、観光船に乗船し、クジラやシャチ、海鳥を見て楽しむことができます。

プログラム

- ① 地域と旅を繋げる「おてつたび」のプラットフォームを活用し、短期的・季節的に人手を必要としている「地域の事業者さん」と「羅臼町に訪れたい人たち」をマッチング。
- ② 日常では体験できない産業に触れ、休日はゆっくりと世界自然遺産羅臼町を探索。
- ③ 人懐こい羅臼の人たち。事業所の人たちと仲良くなって、思い出を作ってください。



おてつたび

成果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、なかなか行けない日本の最北東端へ訪れることが可能となります。参加した若者等が羅臼町に興味を持ち、観光や再度のおてつたいを希望される方も多いです。

本事業が関係人口の拡大に寄与しているものであり、参加する学生と地域の人との関りなどを通じ、体験が充実したものであり、参加者と地域に相乗効果を生み出しています。

【参加実績】

令和5年度：18名 令和6年度：21名

就労内容・イベント内容

【業種】

水産業、観光業、製造業など

【仕事内容】

- ・ホタテ稚貝の仕分け、水産物の加工、宿泊施設の清掃・食事配膳など
- ・多くの業種を体験ができるよう事業者を継続的に募集していますので、おてつたびサイトを確認ください。



参加者の声

- レストランホールでの仕事が主でした。スタッフのみなさんがフレンドリーな方ばかりで、地元の方しか知らないようなお話を聞かせていただいたり、自然の中に連れて行っていただいたり貴重な体験ができました。（22歳・男性）
- とにかくスタッフの皆さんが温かく迎えてくださったこと。さらに賄いがとても美味しい！（22歳・女性）
- 港で水揚げされた魚を洗い箱詰めし、運搬するしました。優しく気にかけてくださるので、とても居心地がよく過ごせました。ご飯も毎日美味しいご飯をいただけます！自然もものすごく豊です（26歳・男性）
- 未経験である漁業に携わりました。男性は無口で力持ち、女性は明るく元気。イメージどおりでしたが、みなてきぱきと作業をされており毎日圧倒していました。本当に良い社会勉強となりました（50歳・女性）



あおもり暮らしインターンプロジェクト（青森県）



基本情報



青森県は、人口およそ120万人、本州最北端に位置し、三方を海に囲まれた山海の幸豊かな県。

豊かな自然に育まれた安全・安心な食材や豊富な温泉、地域色豊かな祭りなど、四季折々の魅力を各地で楽しむことができます。

プログラム

本プロジェクトの特徴は、

- ① 青森県内での就業を希望又は検討する県外在住者の方（市学生・社会人）を対象に、
- ② 授業のない長期休み（夏・冬休み）や、在職中でも長期休暇が取れるタイミングを活用して、受入先企業から給与の支払いを受けながら業務や課題解決に取り組むインターンシップ及びふるさとワーキングホリデー対応型のプログラムであり、
- ③ 参加者は特設ページの掲載内容から、希望する企業やプログラムを自ら選択し、応募することができる。

成果

就労体験を通じた受入企業との関わりや、参加者同士や地域の人との交流等を通じて、参加者と地域との間で相乗効果が生まれ、参加者の中から、青森県での暮らしに興味を持ち、実際に県内に移住・就職を決めた事例が生まれた。

【参加実績（令和6年度）】※

参加者：7名 移住者：2名

※ふるさとワーキングホリデー受入期間（「おおむね2週間」）未満のプログラム参加者を除く

就労内容・イベント内容

- ① インターンプログラムの一例
 - ・ 既存商品を活用した新商品の開発
 - ・ 事業広報用動画の作成
 - ・ SNSを活用した広報戦略の立案
- ② 地域交流会の内容
 - ・ 地元経営者や行政とのディスカッション
 - ・ 地域住民や参加者同士の交流
 - ・ アクティビティ体験や地元食材を使った料理を囲んでの親睦 等



参加者の声

- ・ 普段大学に通っている時は、似たバックグラウンドを持つ人が多い。しかしインターン先で出会った社員さんは、それぞれ違った経緯があって、そこで働いていることを知った。色々なキャリアの積み方、生き方があるのだと感じさせてくれた。大学卒業後どのような選択を取りたいか考える際に、役立つ貴重な経験だと思う。（大学4年生/青森県出身）
- ・ インターンをきっかけに地域経営者との交流等を通じて、自身の生き方をふりかえるきっかけとなった。その結果、学生と県内企業をつなぐ起業したいと思うようになり、現在、起業を準備中。（大学2年生/青森県出身）
- ・ 社員の皆さんが黙々と作業する工場の雰囲気新鮮だった。作業の姿勢から、製品にかける思いやこだわりが見て取れた。東京で普段目にする「サラリーマン」とは全く異なる働き方や人生があることを体感した。（大学2年生/長野県出身）



ワーキングホリデー黒石事業 ～ワーホリ黒石！～（青森県黒石市）



基本情報

黒石市は、青森県のほぼ中央部に位置し、古くから「りんごと米と温泉の田園観光都市」として親しまれており、平野部では水稻、中山間部では果樹や高冷地野菜を主体とした農業が展開されています。また、交通アクセスが良いという強みを活かし、国内外からの観光客を積極的に呼び込んでいます。



プログラム

都市に暮らすみなさんが、一定の期間、黒石市に滞在し、就業体験（農業体験）を通じて、地域の人たちと交流や伝統文化を体験していただく事業です。豊かな自然や美しい景観に囲まれた「りんごと米と温泉のまち」をまるごと体験しながら、新しい農業の価値を発見してもらう。

成果

ふるさとワーキングホリデー事業を活用し、参加した方々の中にはリピーターとして参加し続けている方もいる。

人手不足が懸念されている農業では、一定期間ではあるものの受入農家への加勢となっている。また、祭りやイベント等の体験交流による人との関りを通じ、体験が充実したものとなり、参加者と地域に相乗効果を生み出している。

○参加実績（H29～R6） **162名**

・令和6年度実績 33名

就労内容・イベント内容

【業種】

農業

【仕事内容】

- ・りんご 実すぐり～収穫まで
- ・野菜 除草、収穫等
- ・水稻 除草、稲刈り等

【イベント】

- | | |
|---------------|-------------|
| ・黒石ねぶたまつり | 7月30日～8月5日 |
| ・黒石よされ | 8月15日～8月20日 |
| ・大川原の火流し | 8月16日 |
| ・黒石こみせまつり | 9月中旬 |
| ・中野もみじ山ライトアップ | 10月下旬～11月上旬 |



参加者の声

農業体験でき、かつ黒石の魅力について知ることができ、良い機会であり、黒石市に人を呼び込む良い事業だと思います。この事業を通じて、黒石ならではの行事（黒石よされ等）や観光施設を知ったため、観光目的として再び訪れたいと感じました。（20代 女性）

自分が普段食べているものを育てる過程に携わることができたことや都会ではできない経験ができたため、やりがいを感じました。しかし、この作業を天候に関わらず毎日行うことを考えると非常に大変な作業であり、農家の方の努力を身に染みて感じました。農家の高齢化が問題視される中、実際の現場を目にしたことで、今後の農家への支援や対応について考える機会となりました。（20代 女性）

りんごの農作業は手作業で一つ一つ、丹念に行っているということをもっと知ることができました。りんごをはじめ、スーパーで並ぶ果物を見る目が変わりました。また、作業に没入感を覚えます。天候が良ければ自然に囲まれた中での作業です。素晴らしい景色と草の匂いを感じながら都会での喧騒や仕事を忘れることができ、メンタルにも非常に良い影響があると思います。（50代 男性）



基本情報

本州一の面積を誇る岩手県は、
ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52カ所」
にも選ばれた盛岡市に県庁所在地を置き、日本百名山
岩手山を臨む緑や、三陸のリアス海岸など、豊かな
自然に恵まれています。



プログラム

いわての観光業をフィールドに働く×学ぶ×楽しむ
バイトしながらいわて旅は、岩手県内の
宿泊施設や観光施設で仕事(アルバイト)を
しながら、地域の人たちとの交流や学びを
通して、岩手の観光を楽しんだり地域の
魅力を感じることができる岩手県独自の
「ふるさとワーキングホリデー」です。



[ふるさとワーキングホリデー | バイトしながらいわて旅](#)

成果

プログラム参加後に受入企業を再訪したり、岩手県内を旅行など
で再訪する「リピーター」が増えてきており、岩手との関係人口、
交流人口を創出するプログラムとなっている。
県外在住の岩手県出身者の参加も多く、地元・岩手の良さを再発
見し「岩手で働きたい」とUターン就職を考える契機にもなってい
る。また、参加をきっかけに岩手や、就労した仕事に魅力を感じ
てIターン就職した実績もあり、移住・定住促進にもつながってい
る。

■参加実績（令和6年度）

〔受入企業数〕11社

旅館・ホテル業 5社、観光・レジャー業 6社

〔参加者数〕25名

属性：学生 22名、一般 3名

性別：男性 7名、女性 18名

就労内容・イベント内容

【業種】

旅館・ホテル業、観光・レジャー業など

【就労内容】

〔仲居業務を中心とした接客・サービス〕

…フロント、食事会場準備、客室清掃など

〔観光拠点となるレジャー施設などでの接客〕

…洞窟案内、飲食店や物販の販売など

【イベント内容】

●集合型のアクティビティツアーやまち歩き

●地元観光会社による観光業理解のための交流会



参加者の声

●なんとなく地方で働きたいと曖昧だった考えが、
今回岩手のワーホリに参加したことで、将来の仕
事を真剣に考えるきっかけになりました。見知ら
ぬ地で働き生活することは、自分が思っていたよ
り難しくなかったのだと知ることができました。
将来の進路に、岩手県で働くという選択肢を増や
すことができました。（19歳・女性）

●地元の方にちょっとした雑談から震災に関わる
お話まで、いろいろしていただきました。実は、
このお話を聞くことを毎回楽しみにしていて、今
日はどんな話が聞けるのかと思っていました。地
元の方の話が聞けて、地元のお祭りにも参加でき
て、ディープな部分に浸かれたような気がします。
（21歳・女性）

●老若男女あらゆる年代、しかも身体能力なども
様々なお客様を前に、初めの案内で、注意事項を
しっかりとご理解いただいたうえで、洞窟の魅力
をいかに伝え、お客様の思い出に残る体験にする
のか、この試行錯誤がたまたま面白く、やりが
いがありました。（24歳・男性）



いちのせきふるさとワーキングホリデー～まずは、一関市を知ってもらおう～（岩手県一関市）



基本情報



一関市は東北地方の中央に位置し、仙台と盛岡の中間地点にあり、岩手県南・宮城県北の『中東北の拠点都市』として、経済・文化・教育の中心となっています。
市内には3県にまたがる栗駒山（1,626m）、猊鼻溪や厳美溪の名勝地、一関温泉郷などの観光地があり、世界遺産登録のまち「平泉」や三陸方面への観光拠点ともなっています。

プログラム

- 大自然を満喫しながら楽しく過ごす いちのせき
 - ・ りんどうの「紫」に癒される旅
 - ・ 早春の一関で1万本のピーマン苗を育てる
 - ・ 一関ふるさとワーホリ事務局短期スタッフ
 - ・ 無心体験ひたすら回すりんごの球回し
 - ・ 3食住み込み温泉ホテル
 - ・ 秘境で住み込み1Wのピーマンワーク
 - ・ 朝夕きゅうり収穫～昼間は自由を満喫～
 - ・ 地元おまつり参加ツアー
 - ・ いちのせきの食体験「果報もち」
 - ・ こっちのいちのせき 観光地巡り など

成果

- 大自然を満喫しながら楽しく過ごす いちのせき
 - ・ りんどうの「紫」に癒される旅
 - ・ 早春の一関で1万本のピーマン苗を育てる
 - ・ 一関ふるさとワーホリ事務局短期スタッフ

○令和6年度実績 26名

就労内容・イベント内容

【業種】農業中心

【仕事内容】

- ・ りんどう栽培のお手伝い
- ・ 早朝トウモロコシ収穫作業
- ・ ねぎ収穫管理作業
- ・ ピーマン
- ・ りんご収穫に向けた作業・出荷調整
- ・ トマト栽培のお手伝い
- ・ ワーホリプログラム立案

【イベント】

- ・ バーベキュー交流会
- ・ 観光地案内・食体験
- ・ ドライブ企画
- ・



参加者の声

- 農業に興味があり参加してみた。将来的にやっぱり農業を目指したい。目標が明確化した。いい機会をいただいた。（大学生・男性）
- 東北が好き、農業に興味がある、つらいけどいい仕事、将来の移住候補の一つとなった！（社会人・女性）



石巻ふるさとワーホリ（宮城県石巻市）



基本情報

石巻市は、宮城県の北東部海岸線のほぼ中央にある、海の幸・山の幸に恵まれ、芸術や萬画にも力を入れている地域です。2011年に未曾有の大震災を経験したこの街には多くの想いや情熱が集まりました。「地方」に抱くイメージを軽々と飛び越える刺激や出会いがこの街には待っています。



プログラム

石巻ふるさとワーホリは2つのプログラムに分かれています。

- ①漁師・農家お手伝い/街づくり体験コース
…通年行う従来のワーホリ。地域お手伝いをしながら、観光して石巻を味わい尽くす…！
- ②地域創生見習いコース
…地域コーディネーターのサポートの元、浜や農村の課題を探して仲間と一緒に過ごす2週間…！（8～9月、2～3月ごろ開催予定）

成果

ワーキングホリデーに参加後、移住した方が2023年に2名、2024年に1名。2回目のワーキングホリデーに参加するリピーターや継続して石巻市に残る方、観光として再訪される方も多い。東京のイベントの際にお手伝いに来てくれる方がいたり、関係人口の創出に寄与しているといえる。



【参加実績】

令和4年度	24名
令和5年度	35名
令和6年度	34名

就労内容・イベント内容

【業種】

漁業・製造業・農業・観光業・漫画・街づくり

【仕事内容】

わかめの種付け・パック詰め、ホタテの耳吊り、稲刈り、野菜・ホップの収穫、萬画ベース/萬画館スタッフ、街中インタビュー業務、ゲストハウスの運営補助、WEBページやSNSの広報業務

【地方創生見習いコースミッション】

「外国人実習生の子が働きやすい環境を整えよう」
「海外輸出のお手伝いをしよう」
「いちご農園の広報担当になってPRせよ」

参加者の声

・石巻市の風土や産業に触れ、石巻市の人々や同じ参加者と交流し、自分を見つめなおしたり、刺激を受ける機会となりました。（20代女性）

・自身のスキルを活かしてチラシのデザインやイラストを描くお仕事をお手伝いでき、とても充実した時間となりました。職場の皆さんも賑やかでとても優しく、素敵な2週間を過ごすことができました。ぜひまた石巻に来たいと思います！（30代女性）

・昨年に引き続きの参加ですが、雄勝は何度行ってもいいところです。風光明媚で食事も美味しく、人も優しい。今回も大変満足でした！（50代男性）

・プロジェクトと並行して、震災遺構を訪ねたり、観光したりするのは、正直スケジュール的にきつかったが、振り返ってみれば、その分密度の濃いワーホリになったと感じる。友達にも勧めたくなるような、行ってよかったと本当に思えるワーホリだった。（20代男性）



人と出会い、自分と向き合う。ワーホリ（宮城県気仙沼市）



基本情報



宮城県気仙沼市は、人口およそ6万人、宮城県最北端の港町。
世界三大漁場の三陸沖に面しており、海から世界につながっているグローバルなまちでもあります。
季節ごとの海の幸、さらには山の幸まで豊かな食を楽しむことができます。

プログラム

「人と出会い、自分と向き合う。」ワーホリは、気仙沼というまちを、見て、聞いて、体験して、知ること。地元の企業で、地元の人と一緒に働いてみることに。

みんなで食卓を囲んで、今日あったことを話しながらご飯を食べること。海辺を散歩したり、星を見たり、キャンドルを灯したりすること。普段は話さない悩みを打ち明けてみたり、考えや思いを語り合うこと。

色々な人と出会い、色々な自分と向き合うこと。そんな、非日常な日常を過ごす、11泊12日。気仙沼は、きっとあなたの「心の居場所」になる。

成果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者等が気仙沼に興味を持ち、後に本事業以外でも訪れる方もいる。

本事業が関係人口の拡大に寄与しているものであり、参加する学生間の交流や地域の人との関わりなどを通じ、体験が充実したものとなり、参加者と地域に相乗効果を生み出している。

【参加実績（2021～2025年3月末見込み）】

参加者：393名 リピーター：**187**名（※） 移住者：**29**名

（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に気仙沼市を訪れた延べ人数

令和6年度参加者 100名

就労内容・イベント内容

【業種】

農業、水産業、飲食業、教育事業、宿泊業、ブライダル業、託児・子育て支援業

【仕事内容】

野菜収穫、浜作業、コミュニティカフェ、イベント企画、プログラミング教室、旅館業務、ブライダル業、託児

【ホリデー内容】

観光案内、ものづくりWS、語り部WS、ふりかえりWS等

参加者の声

- 自分や皆の進路、人生についてなど、たくさんお話しして学びになることがたくさんあり、楽しい思い出もたくさんできて、本当に充実した毎日だった。また、震災についても、一部しか知らなかったのが、現地を訪れることで、震災について実際に起こったことを知り、震災を経験し、それでも強く生きよう、この街を良くしよう、海とともに生きていこうという気仙沼の人々の姿勢を肌で感じることができた。（20歳・女性）
- 商店街の方と何時間も話したり、そこで仕事の手伝いをしたりしたこと（が思い出に残った）。顔を覚えてもらい、通りかかっただけで話しかけてもらえるようになったのがうれしかった。気仙沼の一員になれそうな気がした。（21歳・女性）
- わかめを同じ分量ずつパック詰めをする作業が一見すると簡単そうなものにみえるが、実は大変な作業だということがよくわかった。このようなことを普段から働いている方たちが一生懸命やっていることによって僕たちの生活が成り立ってるんだなと感じた。（20歳・男性）



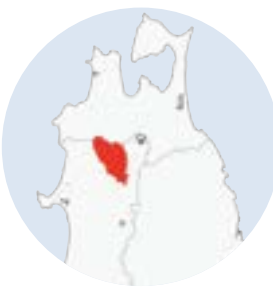
活動イメージ

項目	1期	2期	3期	4期	5期	6期
参加者数	100名	100名	100名	100名	100名	100名
移住者数	29名	29名	29名	29名	29名	29名
リピーター数	187名	187名	187名	187名	187名	187名
地域貢献額	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円
地域貢献件数	100件	100件	100件	100件	100件	100件

大館市ふるさとワーホリ～来て、働いて、触れて、楽しみ、暮らす。～（秋田県大館市）



基本情報



大館市は秋田県の北部に位置し、北を青森県と接する人口およそ6.7万人の街で、渋谷駅で有名なハチ公の生まれ故郷にして、世界的に人気の秋田犬の発祥の地です。

日本三大美味鶏の比内地鶏が名産でこれを使ったきりたんぽ鍋は本場の味として親しまれています。

プログラム

都会の若い世代の方が一定期間大館市に滞在し、働いて収入を得ながら、地域住民との交流や学びの場を通じて、本市での暮らしを体感し地域との関わりを深める機会を提供します。

- ① 都会の喧騒から離れた自然豊かな空間での生活や地域住民との交流
- ② 生活地域では体験できない、地域の特色ある産業分野での就労体験
- ③ 大館市の自然や伝統を楽しむことができるアクティビティや、特産品・名産品などを使用した食の体験

成果

これまで、秋田県や東北地方への訪問経験がない方に事業へ参加いただくなど、大館市の認知度上昇につながった。また、参加者に事業を通じて大館市の伝統や文化を体験いただく中で本市の地域性を理解いただき、関係性の創出につながった。

【参加実績】

令和6年度 参加者： 4名
令和5年度 参加者： 8名
令和4年度 参加者： 5名
令和元年度 参加者： 15名

※令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

就労内容・イベント内容

【業種】

農業、飲食業、製造業、観光・レジャー業

【仕事内容】

野菜の収穫・選別作業、弁当（惣菜）の製造・販売、弁当配達、食堂補助、レジャー施設の受付・運営補助 など

参加者の声

- ・ワーキングホリデー制度を知り、何となく参加してみたが、実際、とてもいい制度だと感じた。その土地で働くだけではなく地域の暮らしを体感でき、普段の生活との相違を感じることができ、刺激が多く、貴重で有意義な体験になった。参加してよかった。（20代女性）
- ・受入先企業へ一緒に参加した方と友人になれた。一緒に地域のお祭りを見学し、良い思い出になった。（20代女性）
- ・受入先の方含め、皆さんからやさしく接していただいた。企業の方にまた会うため、いつか再訪したい。（20代女性）
- ・滞在中で、居住地との様々な違いを発見できて刺激ある充実した日々を過ごした。地域の人との交流の中で、今まで見えていなかった自分が見えてきた。忘れられない思い出になった（20代女性）
- ・ずっと同じ場所で生活しているとそれが当たり前になってしまうような気がする。行ったことない場所で、やってみたいこと、食べてみたいものなど興味が赴くまま体験できて楽しかった。学ぶことも多かった。（10代女性）



いばらき県央ふるさとワーキングホリデー2024（いばらき県央地域）



基本情報

東京から約1時間 —
都会的な不便のない暮らしと自然あふれるのどかなス
ローライフがどちらも楽しめる『いばらき県央地域』

その最大の魅力は、教育・医療機関等が集積する中核
市を中心に、海から山まで豊かで多彩な自然や複数の
大型商業施設、J R・空港・フェリー港等の交通拠点
を有していることで、理想のライフスタイルを実現し
ながら、安心の都市インフラによる不自由のない生活
ができることです。

プログラム

本プログラムの特徴は、何よりも一体の生活圏である9市町村が連携
して実施していることです。それにより2週間で街の暮らし、海の暮
らし、山の暮らしを体験することができます。

また、就労等の基本項目のほか、令和6年度の特徴は以下の2点です。

- ①ワーケーション体験として、都内マルシェ出店企画・運営を実施
ワーホリ終了後、参加者が選んだ特産品で実際にマルシェに出店！
- ②いばらき県央地域の仕事や活躍しているプレイヤーを取材して記事を執筆！
ワーホリ終了後、実際に記事はWEB媒体に掲載

※令和6年9月に実施した2週間の行程概要



成果

＜参加者数＞

令和5年度＜春季開催＞：5名（申込：20名）

令和6年度＜夏期開催＞：7名（申込：12名）

都内マルシェへの出店企画・運営は前年度参加者を含めて12名で実施するな
ど、参加者は継続していばらき県央地域のPRを担っている。

就労内容・イベント内容

＜令和6年9月実施時＞

＜就業先＞ 海側：コワーキング、農家
山側：キャンプ場、特産品製造、酪農

＜体 験＞ 水府提灯や笠間焼といった伝統工芸の製作
体験をはじめとした地域アクティビティ

＜ワーケーション＞ 海沿いのコワーキング、山頂のグ
ランピング施設でテントサウナ等を楽しみ
ながらマルシェの出店企画・作業を実施

＜取 材＞ 就労先や地域で活躍する地域プレイヤーに
ついてを参加者自身の言葉で記事にまとめ、
WEB媒体で発信

参加者の声

- 地方で働く人と直接話をさせて頂いて、皆さん自
分の理想のキャリアや生活を実現されていることに
感銘を受けました。自分も進路を考える時期だっ
たので、地方で働き生活することをリアルに視野に
入れて考えることができました！
- 多くの学生や大人の方々と生活で、色々な価値
観と生き方を知りました。自分が見てきた世界が限
定的だったと感じられて、将来の選択肢が広がった
ように思います。
- 海と山と街がバランスよく共存していて、生活し
ていくには理想的な環境だと思った。地味なイメ
ージを持たれているのが勿体無いほど、食べ物が美味
しく人が温かい良い街だと思った。
- 本当に人が温かいと感じたこと、海と山どちらの
良さも併せ持つところ、何もかも美味しいとこ
ろ、すべてが魅力的だった。
- 東京での就職を考えていましたが、地方で都心に
も出やすい茨城に魅力を感じた。



水戸 de ワーホリ～水戸で「働く」暮らし体験～（茨城県水戸市）



基本情報



水戸市は、東京から電車で約1時間、茨城県のほぼ中央に位置する県庁所在地です。

水戸市の魅力は、便利な暮らしと充実した余暇を両立させることができる、「都市と田舎のいいとこどり」をしたまちであること。

暮らしを支える都市インフラに加え、自然や歴史、芸術文化などの地域資源も充実し、理想のライフスタイルを実現できます。

プログラム

本プログラムの特徴は大きく2つです。

①就職直結型

若い力を求める地元企業で就業体験を実施します。参加者と企業の希望がマッチングした場合、卒業後の就職につながることもあります。

②まちといなか「いいとこどり」の暮らしを体感

地元企業で働きながら、充実した余暇も過ごし、水戸のリアルな暮らしを体験することができます。

2週間の
行程概要



成果

<参加者数>

令和6年度<2/16~3/1開催>：6名（申込：16名）

※ 記入時点で初回開催期間中であり、成果の検証は今後実施していく。

就労内容・イベント内容

●就労先及び就労内容

《旅行会社》

チラシ作成、SNS投稿など

《建設会社》

積み木で施工管理体験、現場訪問など

《印刷会社》

広告提案資料作成、広告データ作成など

《物流会社》

運行日報チェック、商品仕分け、SNS投稿など

《社会福祉法人》

空き家フィールドワーク、救護アート体験、牧場体験など

●体験プログラム

水府提灯や笠間焼といった伝統工芸の製作体験のほか、豊かな自然を感じるキャンプ等のアクティビティを実施した。



参加者の声

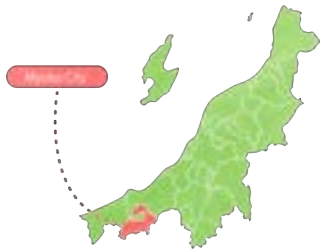
記入時点で初回開催期間中のため収集中



あなたもきっと妙高が好きになる いつの間にか第二の故郷になる（新潟県妙高市）



基本情報



新潟県妙高市は、人口約3万人の自然豊かな観光地。
妙高山麓一帯は妙高戸隠連山国立公園に属し、雄大な自然の景観と四季折々の変化に富み、湧出量豊富な温泉やたくさんのスキー場など観光地を抱えています。

プログラム

このプログラムの特徴は、妙高市の自然や環境を活かして、働く「ひと」と出会い、地域の特色を活かした「仕事」を経験することができます。都心部では、経験できない「生活」や「仕事」をする中で、地元の人との交流や一緒に過ごす時間を大切にします。

この体験から、自分が感じたことをふりかえり、自分自身の経験につなげ、いつかまた関わりたい、訪れたいと思える地域になるようにプログラムを作っています。



成果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者等が妙高市に興味を持ち、後に本事業以外でも訪れる方もいる。

本事業が関係人口の拡大に寄与しているものであり、参加する学生間の交流や地域の人との関わりなどを通じ、体験が充実したものとなり、参加者と地域に相乗効果を生み出している。

【参加実績（2022～2025年2月末）】

令和4～6年度：14名 令和6年度：7名

就労内容・イベント内容

【業種】

農業、旅館業、製造業、サービス業

【仕事内容】

野菜収穫、販売、観光業、日本酒販売・製品化補助、旅館業務

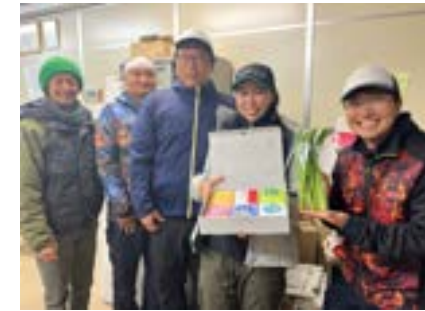
参加者の声

○都会の暮らし、雪国の暮らしを経験することができた今、感じたのは「豊かさとは何か」「幸せとは何か」「自分はどうしたいのか」ということ。自分の夢や想いに向かって生きることや寄り道しながら生きていくことを「大丈夫だよ」と言ってくれる大切なホストファミリーと出会い、ワーホリに来て自分の気持ちに自信が持てるようになった。（29歳・女性）

○農業をやったことがなかったので、とても貴重な体験をすることができた。従業員の方が丁寧に教えてくれたのでスムーズにできるようになった。ほとんど雪の降らないところで生活しているため、非日常の雪国の生活を経験できて良かった。（21歳・女性）

○職場の側にはスノーアクティビティを経験できる、非日常の生活空間だった。休憩時には、スキー場に遊びに行くという経験は初めてだった。ワーホリを通して、第二の故郷のようなまた帰って来たいと思える場所になった。（23歳・男性）

○伝統的な酒造りの仕事を経験できて良かった。全てが感動的で、ひとつひとつの作業がすごく繊細で、職人技を感じました。この機会にもっと日本酒に関して勉強したいと思った。（29歳・女性）



五泉市ふるさとワーキングホリデー（新潟県五泉市）



基本情報

新潟県五泉市は、人口およそ4万6千人、新潟県のほぼ中央、県都新潟市の南東に位置しています。良質な水資源に恵まれ、絹織物、ニット産業が盛んなまちです。肥沃な大地、清らかな清流により里芋を始めとする豊富な特産物を生み出し、春には水芭蕉、桜、チューリップ、ボタンと花の 릴레이を楽しむことが出来ることから市外からも多くの人が訪れます。

プログラム

10日～30日の間、五泉市に滞在し、働き、地域の方との交流を通して、五泉市でのんびりゆったりした生活を体験していただきます。

清らかな清流と山々に囲まれた自然豊かな五泉市で、あたたかな人々との交流を通じて、五泉市の良さを感じることができます。休日には様々な地域交流活動を通じて、五泉市ならではのイベントや活動を楽しむことができます。

成果

開始より3年が経ち、2・3年目は参加者数は定員に達しました。参加者の大多数は学生であり、積極的に地域の人との交流を持ち、五泉市に興味を持ってくれました。

アンケートで参加者全員が再度五泉市を訪れたいと回答され、体験が参加者にとって満足のいくものであったと考えています。今後は参加者が参加後の再訪や交流活動に繋がるような関係づくりを目指します。

【参加実績（令和4～6年度）】

参加者：7名（R4：1人、R5：3人、R6：3人）

※各年度定員3人

就労内容・イベント内容

【業種】

農業、小売業

【仕事内容】

農作業補助、産直での特産品等販売

参加者の声

- みなさんの親切心に驚かされることがあり、五泉の大きな魅力の一つだと感じました。また、1日や2日では表面的なことしかわからなくても、時間をかけて五泉の方々と関係を築いているうちに、五泉を盛り上げようと楽しく奮闘する人たちの姿や、なかなか可視化されない苦労も見ることができて、本当に有意義な時間でした。
- 産直物産ブースで働かせていただいた。販売されていた農産物や加工品、お客様を見ることで五泉がどのような街なのか分かったような気がした。最初は方言が難しかった。しかし、農家さんを初めお客様も優しく、レジ打ちが遅い自分を怒らず待って下った。職場の方も現場で私を一従業員としてみなしてくださり、いつもコミュニケーションをとってくださった。とても感謝している。
- 休日や勤務後の空き時間に1人で自由に街を廻ることができたため、五泉市の自然な姿を感じることができました。たくさんの方々に良くしていただき、五泉の人の魅力に感動しました。就職した後も時間を見つけてまた訪れたいと思います。



のんびり、だけどちゃんと考えてみる。背伸びじゃない、大きすぎないスケールで。
(新潟県南魚沼市)



基本情報



南魚沼市は新潟県南部に位置し、米どころとして知られる地域です。特に「南魚沼産コシヒカリ」は全国的に有名です。冬は豪雪地帯となり、スキーやスノーボードが有名な観光地でもあります。八海山や魚野川などの自然の景観が魅力で、温泉地も点在しています。

プログラム

のんびり、だけどしっかり、南魚沼の「みらい」をつくっていく。その人の好きな、できる、寄り添える、地域と「ひと」の関係性づくりを目指す。

本プログラムの特徴は、地元企業への就労・休日の観光をはじめ、同じ参加者や南魚沼で活躍する「ひと」と話し、考えることで、今までにはなかった「自分」について考える機会があることです。

ゴールはなく、自分のしたいように、好きなように探っていけるような雰囲気づくりも心掛けています。

成果

「大学のないこの地に大学生との縁をつなげ、新たな時代を南魚沼市で共に創りたい」という思いのもと、2022年度から南魚沼市と協力して事業をスタート。これまで全40大学から115名の大学生が参加をしてくれました。参加者は滞在中に就労や共同生活を通し将来への価値観を共有し、まるでコロナ禍で失ったつながりを取り戻すかのように、それぞれが2週間の滞在を楽しんでくれました。滞在終了後約4割の参加者が再訪し、「第2のふるさと」として南魚沼市に強い想いを残してくれました。

【参加実績（令和4年度～6年度）】

参加者：170名 リピーター：45名（※）

参加者から運営者としての再訪：9名 移住者：3名

（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に南魚沼市を訪れた人数
うち令和6年度参加者：55名

就労内容・イベント内容

【業種】

農業、飲食業、観光業、サービス業、宿泊業、製造業

【仕事内容】

稲作作業、野菜収穫、農場整備、飲食接客、旅館・グランピング清掃業務、伝統工芸制作業務

参加者の声

1番良かったことは本音で話して素でいられる新しい仲間が増えたこと、帰れる場所ができたことがすごく嬉しいです。この1年色々なところへ行って数週間過ごしてきたけれど、こんなに終わってほしくないと思ったのは初めてでした。挑戦することの大切さ、おもしろさを再確認できました。参加して本当によかったです。ありがとうございました！今回の経験をそれだけで終わらせず、これからの何かに繋げられるようにまた新たな挑戦に向けて頑張ります。必ずまた帰ります！（大学生・女性）

多様な生き方があることを改めて実感しました。同年代の色々な考えを持った参加者や運営スタッフを見て、夢や目標に向かって様々な選択肢があること、またそれを行動に移して進んでいるということに刺激を受けました。（大学生・男性）

学生さんを受け入れて、私たちスタッフも新たな発信のアイディアや若者目線の館内設備など大切なことを学ばせていただきました。日頃からスタッフのチームワークを大切にしておりますが、その和の中に溶け込んで初めてとは思えない仕事ぶりを発揮してくださり、本当に有難かったです。（就労先/旅館業）



心を癒す「島じかん」～喧騒を離れてゆったりと暮らす～（新潟県粟島浦村）



基本情報

新潟県岩船郡粟島浦村は、県北西部に位置し、人口約310人で二つの集落からなる一島一村です。

主要産業は漁業と観光業で、観光客は年間1万人以上が訪れます。

島民全員が家族の様なあたたかい環境で、歩いていて会った人は全員に挨拶を交わしてくれます。また、畑で自家栽培した野菜や、採れた魚などを分けてもらうこともあります。

共助の暮らしが根付いた地域は、移住者や来訪者を温かく迎え入れます。



就労内容・イベント内容

【業種】

飲食業、宿泊業、観光施設・レジャー
漁業、農業

【内容】

「飲食店(カフェ、食堂)」接客・調理補助
「宿泊施設(民宿・旅館)」清掃作業・調理補助・接客
「直売所」販売員
「漁業」網揚げ・箱詰
「観光案内所」接客・案内



受入事業者の声

・全ての業務にまじめに取り組み、接客の応対も大変良かった。家族とも仲良くなり、お互いに充実した日々を過ごすことができたと思う。（飲食店）

・家族全員と仲良くなり、いろいろな話をすることができた。仕事も熱心に取り組んでいた。参加後には夫婦で参加者の居住地まで遊びに行く仲間となった。今後も関係を続けていきたいと思う。（宿泊施設）



プログラム

粟島を「知ってもらいたい」「来てもらいたい」「体験してもらいたい」「好きになって住んでもらいたい」を目指して取り組んでいます。

都会の喧騒を離れ、大自然の中で暮らしながら、ゆったりとした「島じかん」を感じ、島の文化やひとに触れることで、心を癒してください。さらに観光客との交流も通して、今後の人生に活かせることも体験できると思います。

成果

ふるさとワーキングホリデーの参加者で、その後に本事業以外(観光)で訪れた人や関係を継続している人が複数いる。

そのため本事業は関係人口の拡大に寄与しているものであり、地域の人との関わりだけでなく、参加者同士の交流なども通じ、体験や暮らしが充実したものとなり、参加者と地域に相乗効果を生み出している。

【参加実績（令和6年度）】

参加者：20名 リピーター：8名（※） 移住者：0名

（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に1回以上、粟島浦村を訪れた人数

参加者の声

・都会には無い、ゆったりとした島時間を楽しめました。（20代・女性）

・地域行事(盆踊り)にも参加できて、とても楽しく過ごすことができた。（20代・男性）

・お世話になった家族や地域の方々の生活に関する意見を伺うことができ、将来の仕事に繋げるための貴重な機会となった。（20代・男性）



海と山の恵みにあふれるまち魚津でワーホリ！（富山県魚津市）



基本情報



富山県魚津市は、人口およそ4万人弱、富山県東部に位置する、海と山がとても近いコンパクトな街です。

県内唯一の水族館や遊園地をはじめ、埋没林博物館など、観光スポットも目白押し！

魚津駅前には飲食店が多数揃い、紅ズワイガニやホタルイカ、バイ貝などを味わえます。

春には蜃気楼が見られるかも！？海と山の恵みを味わいに来ませんか？

プログラム

滞在期間は、2週間から1ヶ月。滞在期間の過半数以上の日数を就労に充てていただきます。

休暇には市内観光や地域住民・参加者同士の交流など、様々な体験をしていただけるよう調整いたします。魚津という場所はもちろんのこと、魚津で出会った“好きな人”と再会するために、魚津を訪れてもらえると嬉しいです！

楽しく充実した滞在期間となるよう、全力でサポートいたします！

成果

ふるさとワーキングホリデーで出会った事業所の方々や魚津の地元の人に再会するために、再び魚津を訪れてくれています。

また、事業所と参加者同士で繋がりを持ち、魚津の農産物を送ってもらったりと交流を続けています。冬に参加くださった方は、夏の祭りシーズン（たてもん祭り）に再会しようと計画中です！

【参加実績（令和6年度）】

参加者：17名（夏：10 冬：7） リピーター：1名（※）

（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に魚津市を訪れた人数（R7.3時点）

就労内容・イベント内容

【業種】

農業（水稻、果樹園）、サービス業（遊園地）
製造業（酒造、お餅、マカロン）

【仕事内容】

稲刈り補助、農産物加工、果樹狩り補助、
遊園地スタッフ、お酒造り、お餅製造、マカロン販売、各種イベント出店など

【イベント内容】

市内観光案内、各種体験プラン（藍染め、漆器絵付け体験、ガイド付き魚津案内）、SUP、パドミントン、たてもん祭り、地域住民との交流など



参加者の声

・ 参加前は、魚津市のことは知らなかった。しかし、魚津で過ごしていく中で、普段の生活では目に留めることを忘れてしまう空の色であったり、食事の美味しさ、人の温かさや生活の豊かさを感じることができた。私にとって第二の居場所のようなまちになった。（20歳・女性）

・ 農業に関する知識も技術もない中、一から丁寧に優しく教えていただいた。様々な会話を通して、農業に関することだけでなく、人生についても考えるきっかけとなる話があったことがとても貴重な経験になった。（25歳・女性）

・ 就業先のイベントの際に自分の意見や行動を採用して貰えることがあり、やりがいにつながった。忙しくもあったが、充実した体験が出来た。（22歳・男性）



ふるさとワーキングホリデー（長野県伊那市）



基本情報

伊那市は「南アルプスと中央アルプス」ふたつの雄大な山脈に囲まれた長野県の南部に位置。

3大都市圏からのアクセスもよく、市内には暮らしに便利なお店もたくさん。夏は涼しく冬は雪の少ない気候で、とても暮らしやすい街です。



プログラム

伊那の大自然を活かした農業や林業のほか、宿の接客やサービス業など、さまざまなお仕事を体験できます。滞在中のお宿は、勤務先にちょうど良い距離のゲストハウスをご用意。お仕事や休日の移動は、レンタカー（軽自動車またはコンパクトカー）を利用していただきます。※お宿・レンタカー・ガソリン代は全額補助いたします。

オフの日は伊那の暮らしを満喫！市内のイベントや地域の交流などもご紹介。観光や登山・アクティビティなど、伊那市を満喫していただけます。

成果

<令和5年度実績>

応募者総数 : 78名

参加者総数 : 17名

<令和6年度実績>

応募者総数 : 107名

参加者総数 : 32名

幅広い年齢層の参加者に伊那を体験してもらい、伊那への「移住のきっかけづくり」として重要な事業だと感じている。また、ふるさとワーキングホリデーの体験を終えた参加者が、後日個人的に来伊しているケースもたくさんあり、関係人口への寄与や、参加者と地域の相乗効果を生み出している。

就労内容・イベント内容

- ・農業 : 上伊那特産アルストロメリアの収穫、自然農米の田植え・稲刈り、野菜の栽培等
- ・林業 : 森林整備、薪づくり及び窯出しや配達、松葉の加工等
- ・観光業 : 農業公園における体験補助、接客等
- ・複合施設 : イベント企画、広報、施設管理、接客等



参加者の声

◇それまで自分と縁のなかった土地で暮らすという経験が新鮮でした。単なる旅行では得られない出会いや経験ができて良かったです。

◇ゲストハウスで様々なバックグラウンドの人たちと出会えたこと、初めましての人たちがいつの間にか顔をみるとほっとする存在になっていたこと。大切な思い出になりました。

◇3週間過ごすことで、「伊那市で暮らすとしたら、こんな感じになる」というようなイメージを、具体的に思い描くことができたことが良かったです。

◇ゲストハウスのオーナーさんとの出会いも、今回のワーホリ参加の最大のメリットの一つで、とても良い刺激をもらいました。

◇農業体験だけでなく、日本の農業が抱える課題や、農業で生計をたてる難しさなど、さまざまな話をしていただきました。

◇全く異なる環境に飛び込み自分と向き合えたことで、今の自分の優先すべきこと、したいことを明確に出来た気がします。今も連絡をくださる方がいて、たくさんの愛を感じることが出来ました。



しなのおおまちワーキングホリデー/むらのくらし（長野県大町市）



基本情報



長野県の北西部に位置する大町市は、西側一帯に鹿島槍ヶ岳、爺ヶ岳などの3,000m級の北アルプスがそびえ、山々の素晴らしい眺めとともに、四季の移ろいをはっきりと感じながら暮らすことができるまちです。

プログラム

- 1 大町市ならではの様々な就労体験をしながら、豊かな自然や文化、大町市での暮らしを体験していただく。
- 2 地域の「アル物探し」から生まれた、セミオーダーのプログラムを提案。
- 3 滞在期間中には、地域活動等を通じた地域住民との交流や市内を知る機会を提供。

成果

滞在期間中、自身のSNSで、就労や生活の様子を発信してくださる方、参加をきっかけに、本事業以外でも訪れてくださる方、移住を検討されている方、移住された方など、本事業が新たな関係人口の創出に寄与している。

・参加実績

（令和3年度～令和6年度）

応募者 70名

参加者 49名

受入事業者 28団体

うち令和6年度参加者：4名



就労内容・イベント内容

○農業

例) りんご、水稻の栽培補助、販売補助

○地域づくりプログラム・地域課題解決プログラム

例) 地域内に滞在し、地域の産業や地域づくりなど幅広くかかわっていただく



参加者の声

- 大町での仕事、滞在を通して、いわゆる“生活”を体験することができた
- 普通に生活していたらできなかった体験や関わることができなかった人達と交流ができ、かけがえのない経験となった
- ワーキングホリデーで大町市に住んだことによって、将来の選択肢の1つになった

【受入事業者の声】

とても素晴らしい事業だと感じている。期間後、移住をするか否かは長期的に見なければわからない点もあると思うが、この事業をきっかけに、この地域に訪れることになったり、人間関係が構築されることになったり、という効果は間違いなくあり、将来の大町への財産を生み出しているのではないかと考えている。

あなたの「ふるさと」を見つける夏休み（岐阜県瑞浪市）



基本情報



岐阜県瑞浪市は、古くから美濃焼の産地、中山道の宿場町として栄えた歴史のあるまちです。まちのあちこちから化石が出土する化石のまち、県内最多の13ゴルフ場を有するゴルフのまちみずなみとしても知られています。東京駅から約3時間、名古屋駅から約50分に位置しています。

プログラム

期間は2週間で、空き家等にシェアハウスしていただきます。瑞浪市ワーホリの特徴として、多様な業種、職種があることです。また、瑞浪市の「人」の魅力を知っていただく機会でもあります。

初日のキックオフ研修をはじめ、中間研修、修了研修と、就労先の事業所だけでなく、様々な事業者や地域の方々と出会う機会があります。

また、期間中の地域のイベントをご案内しています。

成果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者等が瑞浪市に興味を持ち、後に本事業以外でも訪れる方もいます。名古屋市でのふるさと納税事業におけるイベントや東京での移住イベントへの参加など、継続的に参加者との交流を続けていきます。

【参加実績】

令和5年度 10名

令和6年度 10名

移住者はいないものの、瑞浪市へ再訪する、市イベントへの参加など、約7名が訪れている。オンラインでの交流会も開催予定です。

就労内容・イベント内容

【業種】

製造業、農業、小売・サービス業、まちづくり事業 など

【仕事内容】

オーダーメイドタイル製造補助、まちづくりイベント企画、アクセサリ企画・製造、産業用ロボットの設計・組付け補助、米収穫作業、クラフトビール製造、陶磁器製造補助 など

【イベント】

五平餅づくり、岩穴くぐり、化石博物館見学、など、地域や瑞浪市の魅力を知っていただくイベントや、事業者さんとの交流会を実施。



参加者の声

○印象に残っていること

- ・仕事の大変さがわかった
- ・普段できないものづくりの仕事を体験できた
- ・ワーホリ生との共同生活、地域の方との出会い
家族のような時間がとてもうれしく、心の故郷が瑞浪にできたと強く感じた。
- ・ワーホリ生それぞれが濃い過去や悩みを持っていて、様々な話を聞く機会になった。

○仕事の楽しさ、やりがいと感じたこと

- ・組織一体となって仕事に向かう姿勢が新鮮だった。
- ・自分が一から携わったものが、実際に製品となったお客様の手にわたること

○瑞浪市の魅力について

- ・話し出したら止まらない、愛が強すぎるクセ者」、その人と人のつながりが、産業や事業、まちの魅力に繋がっていると感じた。
- ・自分たちのまちを、自分たちのやっていることを楽しみながら活動されていることが印象的だった。



日常から1歩踏み出す2週間。(岐阜県下呂市)



基本情報



下呂市は、人口2.9万人ほどの岐阜県飛騨地方南部のまちです。

「日本三名泉」に数えられる下呂温泉をはじめ標高の高い山里の地域、美しい清流と共に暮らす地域など、自然資源の豊かな場所です。

プログラム

都市部の若者が2週間下呂市に滞在し、下呂市ならではの農業や産業、観光業等を働きながら体感し、地域住民との交流などを通して地域との関わりを深めることにより、下呂市のファンの増加、関係人口の拡大を図ります。「学びたい・出会いたい・体験したい」日常から1歩踏み出すあなたを応援するプログラムとなっています。



成果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者たちが下呂市に関心を持ち、事業終了後も友達・家族と一緒に下呂を訪れたり、ふるさと納税をしたり、受入団体が開催する田植え稲刈りイベントに毎年参加される方もいます。

また、東京で開催される移住イベントにも、お手伝いに来ていただくなど、深く下呂市と関わり続けていく関係性づくりができています。

参加した学生等が、事業所・地域の方と仕事や交流を行うことで人との関わりなどを通じ、絆が深まり関係性が継続しており本事業が関係人口の拡大に寄与しているものであります。

【受入実績】

令和6年度参加者数：20名

通算参加者数（H29～R6）：111名

就労内容・イベント内容

【業種】

農業、製造業、飲食業、宿泊業、観光事業、まちづくり事業

【仕事内容】

宿の運営、ブランドマネジメント、観光ガイド、ふるさと納税受託業務、ネット販売、廃校活用検討、お菓子の製造・販売、トマトの収穫、飲食接客対応、地域づくり活動

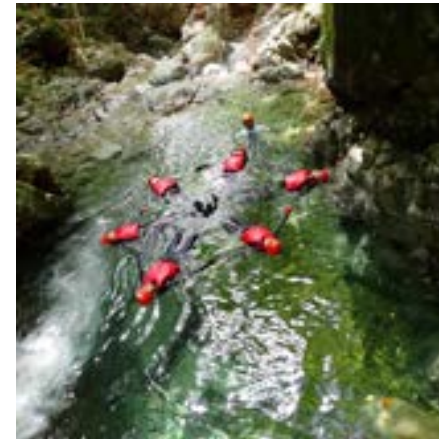
参加者の声

◇四方を山に囲まれた環境で過ごし、毎日の流れがゆっくりとしたものに感じました。ゆっくりな毎日でも、畑作業や家事をしているとあっという間に1日が過ぎていたように感じました。
(23歳 女性)

◇下呂市金山町という今まで何も関わりの無かった場所に2週間滞在して、その文化や特産、歴史や問題を知ったり、地域住民達や受け入れ先の方々との交流を通して、様々な人の多様な人生観や考え方、価値観などを知ったりすることができて、滞在が終わる頃に私の世界が少し広がったような感触がありました。そして、このことを受けてもっと自分の知らない世界を見てみたい、知らない事を知りたいと考えるようになりました。
(19歳 男性)

◇幼い頃から将来の事を考え、不安に思うことがありましたが、「今が一番楽しい!」という経験をしたこと、今を全力で楽しむ人たちに出会えたことがきっかけで、人生を楽観的に捉えることができるようになりました。
(23歳 女性)

◇地域住民や観光客の方々との交流を通じて、地方が持つ温かな人間関係や支え合いの文化を実感しました。また、観光やアクティビティを通して、地方の魅力が都市部では得られない独自の価値を持っていることにも気づかれました。
(20歳 女性)



新たな出会いとここだけの体験を。 (岐阜県白川町)



基本情報

岐阜県白川町は、日本のまんなか岐阜県の南東部に位置する人口およそ7千人の農山村。

おもな産業は、建設業や製造業のほか、特産品の美濃白川茶や東濃ヒノキなどの農林業も盛ん。また、夏秋トマトや有機農業にも力を入れている。おすすめの食はケイちゃん。鶏肉の味付けとキャベツなどの野菜を鉄板でジュージュー。ご飯が何杯でもいけちゃいます。



プログラム

プログラムの型が決まっていないことが大きな特徴。コーディネーターが町内に住んでいる為、参加者の興味関心や、新しい環境への慣れ具合に合わせて、丁寧に伴走することが出来る。また、地域で自発的に動く体験も、重要だと考えているため、**自由度高め**のプログラムとなっている。

加えて、運営団体が町内企業で作る協同組合であるという強みを生かし、町内企業との交流機会を設けている。地域課題について、共に考える機会は、双方にとって有益。

成果

R4・R5・R6年度のふるさとワーキングホリデー参加者37名の内、5名が移住に繋がった。内2名が、新卒で、町内企業に就職した。残り3名は、社会人の方で、転職を検討している際に、ワーホリを活用し来町、町の雰囲気を入り移住、町内企業に就職した。ご自身のスキルを生かした職業に就いた方と、スキルはないが興味を持っていた職業に就いた方がいる。

その他、プログラム参加後も参加者が交流できる機会を設けていることもあり、継続的に町に関わってくれている方が多い。

【参加実績 (R6年度)】	参加者：15名	移住者：1名
【参加実績 (R5年度)】	参加者：14名	移住者：1名
【参加実績 (R4年度)】	参加者：8名	移住者：3名

就労内容・イベント内容

【業種】

農業、飲食業、まちづくり事業、観光業、サービス業、教育事業、宿泊業、製造業

【仕事内容】

野菜収穫、コミュニティ運営、まちづくり事業、観光業、味噌製造、中高生の授業サポート、飲食業・宿泊施設清掃

【イベント】

夏祭り、山登り、星空観察会、味噌づくり、醤油しぼり、学校キャンプ、有機農家フェスなど



参加者の声

【まとめ】

▼良かった点

- ・人との交流！！
- ・民泊やシェアハウスに滞在し、地域の人の暮らしを間近に感じることが出来てよかった

▼困った点

- ・移動手段の選択肢が少ないこと
→免許のない方は、運営団体の送迎と町内のオンデマンドバスで出来る限り対応した

▼滞在中に得た学びや気づき

- ・自分の中にある感覚を大切にしたい（情報量が少なくなることで、大切なことは何かを考える方が多い）

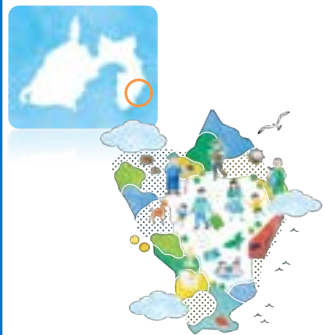
【実際の声】

- ・（就業先に対して）一緒に働く中で成長させてもらったことです。お客さんをもてなすという同じ目的をもって接し、その中でのコミュニケーションだからこそ、できる交流がある気がしました。（大学3年生）

海と山と仕事と 東伊豆町で夢を叶えよう！（静岡県東伊豆町）



基本情報



静岡県東伊豆町は、伊豆半島東海岸の中央に位置する人口約1万1千人ほどの町です。6つの温泉郷があり、稲取細野高原では伊豆七島を望む大パノラマをご覧ください。

稲取キンメやイセエビ、ニューサマーオレンジなどの柑橘類も豊富で、海の幸・山の幸にも恵まれています。

プログラム

東伊豆町を知って、東伊豆町を選んでほしい！

就業を通して、観光だけでは知ることのできない町の魅力を、地元住民・移住者などさまざまな人と交流することで体感していただけるプログラムを企画しています。



成果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、若年層への周知ができ『東伊豆町にまた来たい！』と興味を持ってきている。

本事業は課題である人手不足解消に対する直接的なアプローチではあるが、関係人口の拡大のきっかけづくりにも寄与しており、参加者との交流が地域の活性化にもつながり、相乗効果を生み出している。

【参加実績（令和6年度）】

参加者：12名 ※2024年より事業実施

就労内容・イベント内容

【業種】

- 1) 保健師
- 2) その他（農業、宿泊業等）※現在検討中

【仕事内容】

- 1) 赤ちゃん教室、歳児健診などの母子保健事業、特定健診やフィットネス教室などの高齢者・介護予防事業の補助など
- 2) 農家の収穫作業、観光・宿泊業 など

参加者の声

○保健師を実際に身近で体験させていただいたことで自分の将来像を深く考えることが出来ました。美味しいご飯はもちろん、満天の星空や美しい海など東伊豆ならではの風景に感動いたしました。また、同じ職業でも地域によって違いがあり、多様な対応が行われていることを知りました。今回のワーキングホリデーで学んだことを今後の学びに活かせるように精進します。（10代・女性）

○保健師を目指す私にとって今回の事業は、とても有意義な機会となりました。インフルエンザワクチンとコロナワクチンの案内状の封入作業、高齢者の健康教室、小学校でのフッ素洗口、地域の方への訪問などを体験してみると、保健師は実際にどのようなお仕事をしているのかを知ることが出来ました。（10代・女性）

○地域ならではの業務を経験し、様々なことを学ばせていただきました。また、地域の方々との交流やイベントの参加を通して、東伊豆という地域を知り、良さを実感することができました。貴重な経験をさせていただきました。（20代・女性）

●地域交流イベント イメージ



●活動イメージ



ミナミイズワーホリ！～「伊豆最南端の町で活躍する力」募集!!～（静岡県南伊豆町）



基本情報



- ☐ 伊豆半島の最南端にあるまち
- ☐ 東京駅から電車で約3時間
- ☐ 東京ICから車で約3時間
- ☐ 人口約7,500人
- ☐ 主な産業は観光と一次産業
- ☐ 年間平均気温は17.1
- ☐ 海も山も川も温泉もある

プログラム

- 受入れ事業者は18事業者（令和6年度）。参加者の希望に応じた就労先や体験をご提案しています。
- 町内にある仕事なら、可能な範囲でご希望に合わせたマッチングを行います。一覧にないお仕事でも体験できるかも。（インターンやボランティアとしての受け入れを含みます。）
- お仕事を、宿泊先、行政のそれぞれが地域交流の窓口にもなるので、地域との多彩な交流が可能です。
- 1対1で地域に住む人の暮らしを体験できるプログラム「南伊豆暮らし図鑑」を体験できます。



成果

参加者の若者と地域事業者の交流によって、事業者自体が活性化され、関係人口拡大に対する意識の変化が見られる。

参加者の中には、地域の人とワーホリ終了後も交流を持ち続け、後に本事業以外で南伊豆町を訪れる方もいる。

【参加実績（令和6年度）】

参加者：44名 リピーター：2名

就労内容・イベント内容

【業種】

農業、漁業、宿泊業、飲食業、観光アクティビティなどのほか希望に応じた就労先の手配も可能（町内で手配可能な仕事に限る。）

【仕事内容】

トマト、いちご、ストロベリーグアバ収穫、田植え、森林整備、渡し船受付、ゲストハウス・旅館業務、ダイビング業、海の家、レストラン、ふるさと寄附業務など



参加者の声

- 南伊豆のお米農家さんでのお仕事をしながら滞在することで、生きていく術をたくさん学ぶことができました。薪でお風呂を沸かしたり、レモングラスの葉を乾燥させてお茶をいれたり、自然と共存して暮らす、様々なライフハックを教えてもらい、南伊豆で実際に暮らしていくことが想像できました。（20代・女性）
- 滞在前は南伊豆のことを全く知らなかったのですが、滞在し、地域で頑張っている町の方々に会いすることで、「南伊豆や南伊豆の商品を応援したい！」と思うようになりました。（30代・女性）
- 南伊豆のいくつかのお仕事先で働く中で、“もう少し違う仕事もやってみた”“初めて会う人たちともっと会ってみたい”という気持ちが湧いてきました。様々な人たちと出会うことが出来て良かったです。（20代・男性）



基本情報

愛知県蒲郡市は、人口約7万7千人、南を三河湾、他を山に囲まれた自然豊かなまちです。県内有数の温泉観光地で、市内には4つの温泉郷があります。また、国の天然記念物に指定されている竹島や潮干狩りや花火大会など季節ごとに様々なイベントを楽しめます。

特産物は、蒲郡みかんと深海魚をはじめとする新鮮な海産物です。



プログラム



本市の魅力である観光や海を感じられるほどよい田舎として、仕事と暮らしの環境を体験できるプログラムになっています。

仕事面では、農業や旅館、テーマパークなど観光地ならではの賑わいを提供する仕事や、地域活性化にも取り組む、地元食材を取り扱う飲食店などがあり、蒲郡の特徴を多様な面から学ぶことが出来ます！

成果

- 本事業で初めて蒲郡を訪れた参加者がほとんどで、その全員が「ふるさとワーキングホリデー」をきっかけにして、本市を知ったのでした。若者世代への知名度向上にとっても効果的だったと感じました。
- 実際に魅力を体感したり、地域に知り合いが出来たことで、再度来訪したいとの声を多く聞きました。

令和6年度参加者：11名

就労内容・イベント内容

【就労内容】

- 農業：観光農園での土産販売、飲食業、農作業
- 飲食業：地元食材を扱う飲食店でのホール・キッチン業務
- 宿泊業：老舗温泉旅館での客室清掃や食事提供
- 観光業：テーマパークでのスタッフ業

【イベント例】

クルージング体験、地元食材でのバーベキュー、竹島散策、竹島水族館、移住者が営むワークショップ体験、地元の人との交流会など



参加者の声

○土地に縁がない人間でも、こうして多くの方と関わらせていただける機会を作ってください大変有難かったです。仕事や仕事以外の時間を通して、蒲郡という地域やそこに携わる皆さんの魅力を体験することができました。（20代・女性）

○今までほとんどかわりのない地域で、泊まりつつ働くことで、自分の第2のふるさとのような感覚で、まちの雰囲気や関わる方に愛着がわいて、また来たいと思うようになった。（20代・女性）

○蒲郡の方と話すと、誰もがこのまちは「何もない」と言いつつも、話していくと強い愛着を持っていて、何らかの良さをそれぞれが感じとってとどまっているのが伝わってきて、それも魅力的なまちだからだと感じました。（20代・女性）



老舗旅館・芸術の村のカフェ・道の駅の
3つのお手伝いから選べるワーキングホリデー（奈良県川上村）



基本情報



川上村は、奈良県の南東部に位置し、面積の95%が山林の村。吉野川（紀の川）源流に位置し、古来より森や川を大切にしてきた水源地の村である。

人口は、1,200人程度で高齢化率57%と高齢化が進む中、「水源地を守る」という大きな使命と役割を果たしている。

就労内容・イベント内容

【業種】

旅館、カフェ、道の駅

【仕事内容】

食事の配膳や片付け、食器洗い、部屋の掃除、野菜収穫、草引き、接客

【ホリデー特典】

レイクSUP・カヌー、ケイビング、陶芸等の地域の人と交流するイベント



プログラム

このプログラムの特徴は、

- ①都市部の若者が、自然のサイクルに寄り添いながら働く村民に接することで、都市部とは異なる働き方や暮らし方を体験してもらう
- ②行ったことがない地域での暮らしは、不安に思われる方が多いので、川上村役場がサポートし、参加へのハードルを下げる

これらを通じて、川上村としては、旅行では味わえない川上村での暮らしを体験し、川上村との関りを深めてもらうことで、川上村のファンづくりを目指している。

参加者の声

〇不安が大きかったのですが最後にはもっと働きたいと思ってしまうほどでした。川上村の方々と交流する機会もあり、本当に楽しく過ごさせてもらいました。また機会があれば川上村に立ち寄ろうと思います。（20歳代男性）

〇1年でいちばん忙しい時期にお邪魔しました。地元の方ともお話が出来て、毎日楽しく仕事が出来ました。レンタカーの貸出もして下さるので、休みの日には気軽に遊びに行けるのも良かったです。2週間という短い間でしたが、濃い時間を過ごさせていただきました。（30歳代女性）

〇自然豊かで、たくさんの動物に出会えました。普段デスクワークなのでとても良いリフレッシュになりました。（40歳代女性）



成果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者等が、川上村に興味を持ち、後に本事業以外でも訪れる方もいる。

【参加者実績】	開催	参加者数
令和元年度	2回	10名
令和3年度	1回	4名
令和4年度	2回	9名
令和5年度	1回	4名
令和6年度	2回	6名

地域と人と暮らしと出会う 短期旅（広島県府中市）



基本情報



府中市は、広島県の東部にある山に囲まれた中山間地域で人口約35,000人のまちです。産業としては、伝統産業の府中味噌や府中家具、その他製造業でダイカスト製品や金属、機械器具関連の中小企業が多く集まるまちです。

山間部エリアでは、農業も行われており、米、キャベツ、白菜、生姜、アスパラが採れます。

プログラム

7日～30日間の滞在の中で、暮らすように過ごしてもらうため、地域との交流やホリデー体験、ボランティア、伝統産業に触れる体験など、府中市らしさを体験してもらうプログラムを組んでいます。



成果

昨年度参加者が再訪し、同じ事業者へ就労する等の継続的な繋がりができている。

また、受入事業者にとって繁忙期の人手不足の解消に繋がり、さらには若者の新しい視点での提案や活気に助けられ事業所として事業の見直しのきっかけや新しいことに取り組む後押しになっていた。学生や若者が来訪することによって、自分の仕事や地域の価値を再確認することができた。

【参加実績（R3～R6）】

R3：申込6人参加2人
R4：申込21人参加14人
R5：申込36人参加19人
R6：申込27人参加13人

【受入事業者実績】

R3：2社
R4：5社
R5：3社
R6：3社

就労内容・イベント内容

【業種】

農業、福祉事業

【仕事内容】

玉ネギ苗の出荷準備、玉ネギ苗植え、草取り、漬物下処理、障害福祉の現場仕事、パンの販売、田んぼ、椎茸収穫、野菜の定植、野菜（キュウリ、キャベツ、白菜、ほうれん草等）の収穫

【イベント】

府中焼き体験、府中家具メーカー見学



参加者の声

○短い期間でも農業の楽しさや大変さについて考えるととてもいい機会だったと思います。2年連続で参加させていただきましたが、その年によって野菜の出来にかなりの影響があるということも実際に見て驚きました。また戻りたくなる、第二の故郷のような場所であり、これからもこの繋がりを大切に、今後何らかの形で恩返しができたらと思っています。（30歳女性）

○施設の人が優しく丁寧に対応してくださりととても快適に過ごすことができた。普段全くする機会のない農業やパン屋の業務に触れることができてよかった。将来を深く考えるきっかけになったと思う。（10代女性）

○自分が関わったことのない業界や職種の人と話すことができる価値観を広げることができました。おかげで地域の課題もリアルに知ることができた。（20代男性）



徳島県ふるさとワーキングホリデー（徳島県）



基本情報



徳島県は四国の右側に位置し、日本百名山の一つである「剣山」や、人々の暮らしに大きな恵みをもたらしてきた日本三大暴れ川の一つである「四国三郎・吉野川」など自然の恵みを多く感じることができる地域です。恵まれた自然環境による豊かな食、昔から続く伝統工芸などの文化活動も盛んです。

プログラム

「徳島県ふるさとワーキングホリデー」とは、県外に居住する若者や外国人（留学生等）が、県内に滞在し、働きながら、地域住民との交流やイベント・学びの場を通じて、魅力的な「とくしま暮らし」を体感し、その魅力を発信していただく取り組みです。

徳島の人々のおもてなし精神溢れる温かい人柄や、豊かな自然・伝統・文化に触れることができるワクワクがいっぱい詰まった地域の暮らしを体験して新しい地域を知り、新しい自分を見つけてみませんか？

成果

「徳島県ふるさとワーキングホリデー」をきっかけに、参加した若者等が徳島県に興味を持ち、後に本事業以外でも訪れる方もいる。

本事業が関係人口の創出・拡大に寄与しているものであり、参加する学生間の交流や地域の人との関わりなどを通じ、新しい気づきや新たなふるさとになる等、参加者と地域に相乗効果を生み出している。

【参加実績】

R6参加者：15名（うち外国人2名）

就労内容・イベント内容

【業種】

飲食業、まちづくり事業、観光業、サービス業、教育事業、宿泊業

【内容】

地域活性化に携わる事業者や地域に根ざした事業者の元で就労しながら徳島の暮らしを体験

【地域との関わり】

- ・地域イベントへの参加
- ・地域おこし協力隊との交流会
- ・地元若手事業者との交流会
- ・参加者と地元学生との交流



参加者の声

・徳島や地域のことを知り、学べるだけでなく、地域で活躍している方や地元愛に溢れた方等、様々な人と交流でき、「ただいま」と帰ってきたい場所に徳島県になりました。

・観光もその地域の昔話や地域で行われている活動を教えてくださったり、飲食店ではどういった思いや背景があって経営されているか等のお話を聞くことができ、より踏み込んだ深い観光をすることができました。

・地方でも「ないなら作ればいい」と、なんでも挑戦できる、挑戦しやすい環境があるという気づきを得ることができました。

・地域全体が外から来る人を迎え入れる「おもてなし」の心に溢れていると感じました。次は私も周りの人に広げていきたいと強く思いました。



「半農半X」推進シェアハウス事業をはじめとした移住体験事業（徳島県鳴門市）



基本情報

徳島県鳴門市は、四国、徳島県の東北端に位置し、四国の東玄関口です。神戸1.5時間、大阪2時間で車移動でき、関西方面からのアクセスは四国No.1であり、東京・福岡も飛行機で1.5時間ほどです。

また、世界最大級の渦潮や全国的ブランド力のあるさつまいも「なると金時」など多くの地域資源に恵まれており、海や山など自然豊かで、釣りや散歩も楽しめる穏やかな街です。

プログラム

鳴門市では地方移住への関心の高まりを背景に、「半農半X」を新たな移住コンセプトに移住交流を促進しています。

「半農半X」推進シェアハウス事業とは、全国から希望者を募集し、鳴門教育大学職員宿舎をシェアハウスとしながら、市内農家において約2週間の農業アルバイトを体験してもらうプログラムです。

半日は農作業、残りの時間は鳴門市で暮らす魅力を知ったり、シェアハウスで暮らす隣人と交流したり、自分の将来について考えたり・・・思い思いの時間を過ごすことで、半農半Xライフを体感していただけます。

今後は他の業種でも受け入れを拡大することとしており、令和6年度からは観光業での受け入れを開始しました。

成果

本事業の実施により、鳴門市への移住交流はもちろん、鳴門のファンづくり・関係人口の創出、さらには繁忙期における人手不足解消につながっています。

参加した方全員から鳴門市に対して好意的な印象を持っていたことができ、受入事業者の方からも「作業が予定より早く終わり助かった」と大変喜んでいただきました。

また、これまで参加者1名が鳴門市に移住し、特産品「鳴門らっきょ」の魅力を広めるために、鳴門市で起業し、加工品の開発に取り組んでいます。

令和6年度参加者：20名

就労内容・イベント内容

【業種】

農業、観光業

【仕事内容】

- ・鳴門らっきょ編：らっきょの収穫作業、コンテナの交換作業、出荷調製作業など
- ・なると金時編：さつまいもの収穫・運搬・出荷調製作業など
- ・リゾートホテル編：土産物店での接客、客室ベッドメイキング、レストラン業務など

【特典】

- ・初日に車で鳴門市内を観光案内（市職員）
- ・1人1台無料貸出の自転車を使っの通勤

参加者の声

○ 仕事自体が午前中なので鳴門の生活を堪能しながらお仕事できました。四国自体初めてでしたがこの機会に四国一周でき、充実した2週間でした。出会いにも恵まれ、また戻ってきたいと思える場所です。（20歳・女性）

○ 実際に生活してみるとスーパーや飲食店などの商業施設がコンパクトに纏まっていて日常生活に不便を感じることがなく住みやすい街だと感じました。現状、実現は未知ですが、コンセプトである「半農半X」や「鳴門市への移住」に対してより前向きに検討していこうと思うほどでした。そして、市役所やJA、受け入れ先の農家の皆様が優しく、想像以上の手厚いサポートのお陰で不自由なく2週間楽しく過ごすことが出来ました。（30代・男性）

○ 初めて訪れた鳴門市は想像していたよりもずっと暮らしやすかったです。お借りした自転車で毎日あちこち出かけるのが楽しかったです。また、シェアハウスでの共同生活では他の参加者との交流も深まり、楽しい時間を過ごすことができました。農園や市役所の皆さん、さらには移住してこられた現地の方々など、多くの出会い通じて様々な生き方や価値観に触れることができたことは、今後の人生においても大きな意味を持つと考えています。（40歳・男性）



人生は、自分の手でつくる。(愛媛県伊予市)



基本情報

愛媛県のほぼ中央に位置する伊予市は、便利な郊外の伊予(いよ)地区、瀬戸内海にしずむ夕日や下灘駅で知られる双海(ふたみ)地区、そして栗と里山の暮らしが魅力の中山(なかやま)地区からなる、人口3.5万人の過ごしやすい落ち着いた町です。



就労内容・イベント内容

- 就労内容(受け入れ先業態)
かんきつ農園、道の駅売店、蕎麦屋、喫茶店、お土産店、宿泊施設、スイーツ製造販売、かつおぶし製造、鮮魚加工、EC小売
- イベント内容
歓迎交流会、お別れBBQ、自己開示ワークショップ



自己開示ワークショップ

プログラム

伊予市のワーホリは「成長」と「仲間づくり」を通じて、伊予市を心の故郷にしてもらうことをテーマにしています。たまたま出会った仲間たちと時間を共有し、生き生きと暮らす地元の人々と交流するなかで、ときに人生について深く語り合ったり、お互いの考えを刺激し合ったり。伊予市での出会いや経験が、参加者にとってかけがえのない時間となるようなプログラムを考えています。



成果

伊予市では2024年から受け入れを始めました。今年度の参加者は17人(うち大学生16人)でしたが、そのすべてが伊予市を再訪したり、近いうちに訪れたいと言ってくれています。また、受け入れ先企業の繁忙期に手伝いにきてくれたり、これまでできていなかったSNSでの情報発信を担うなど、積極的に関わってくれています。

参加者の声

当時の私は大学3年生で就活が始まっていて、自分が本当にしたいことが分からなくなり、自分自身を見失っていました。ワーホリでは多くの人との出会い、多くの話を聞き、多くのことを学びました。一期一会の素敵な経験を通して得た気づきや経験を、いつか必ず伊予市の地域に貢献すること、そして伊予市での生活を始めることが私の目標です。多くの募集先から伊予市を選び、これまでの人生で最も充実した夏になりました。(20歳・女性 / 参加時)

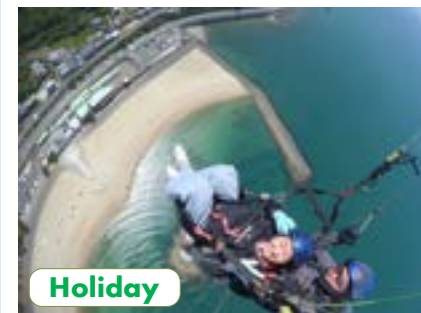
ポータルサイトで見た伊予市の美しい景色に惹かれて参加しました。最初は不安でしたが、地元の人や他の参加者とすぐに打ち解けて仲良くなれました。市内観光ではトウクトウクに乗ったり、仕事体験では食品系の知識を活かしたりと、貴重な経験ができました。最初はぎこちなかったメンバーも、共同生活を通して本音で話せるようになり、別れを惜しむほどになりました。共に過ごした時間は全てが楽しく、かけがえのない思い出です。それぞれの目標や夢は違えど、深く語り合える仲間と出会えたことは大きな収穫でした。(20歳・女性 / 参加時)



Furusato



Working



Holiday

松野町ふるさとワーキングホリデー（愛媛県松野町）



基本情報

愛媛県内最小自治体でありながら、多くの観光資源を持つまち

松野町は、四国南西部、四万十川支流域にある、総人口約3800名の愛媛県内でもっとも小さな自治体です。しかしながら、国立公園滑床溪谷をはじめ、多くの観光資源を有しています。森林が全面積の84パーセントを占めることから、「森の国」として愛媛県内で一定のブランド価値を有しており、それに伴った様々な商品開発なども行っています。

プログラム

この森にあそび この森に学びて あめつちの心に近づかむ

この言葉は松野町のテーマとなっています。豊かな自然と共存し、時には自然を存分に楽しみ、時にはそこにある暮らしや文化を学ぶ。また、地元の人々との関わり、一緒に働く仲間との関わりの中で、松野町は色々な気付きを与えてくれます。

松野町ふるさとワーキングホリデーはそんな「森の国」を五感で感じることができるプログラムとなっています。



成果

令和6年度実績：9名

過去の受入れ者の中には、松野町での体験をきっかけに移住を決意し、現在も町内の観光施設で働いている方もいます。その他、地域住民や地域おこし協力隊などとのつながりができ、県内外での関係人口の増加にも寄与しています。

就労内容・イベント内容

滑床溪谷でのキャニオニングガイド

仕事内容：キャニオニング体験者に対する指導や記録（写真・動画撮影）に関する業務を行ってまいります。

キャニオニングはフランス生まれのリバースポーツで、滝壺に飛び込んだり、滝を登ったり、下ったり、体1つで溪谷を滑り降りる遊びです。全国的に幅広く行われているラフティングと違い、参加者自らの足で移動し、それぞれのポイントを楽しむのが特徴です。



キャニオニングメインスポット
滑床溪谷 雪輪の滝

須崎市ふるさとワーキングホリデー（高知県須崎市）



基本情報



高知県須崎市は、高知県海岸線のほぼ中央に位置した人口およそ2万人のまちです。豊かな海と温暖な気候に恵まれており、漁業では沿岸漁業とカンパチ、鯛などの養殖漁業、農業では、生産量日本一を誇るミョウガをはじめハウス園芸や土佐文旦やポンカンなどの柑橘類の栽培が盛んです。

プログラム

このプログラムの特徴は、

- ① 移住者交流会や地元の人とのコミュニケーションを通して、須崎市の「人」を知り、つながる。
- ② 興味のある地域の仕事を体験してもらい、地域の暮らしを具体的にイメージする。

成果

短期間の滞在ではあるが、移住交流会や地域のイベントなど、移住者や地域住民との交流の場に参加してもらうことにより、地元の人たちと親交を深めてもらうことができている。まだ、実績として移住者には結びついていないものの、須崎市の魅力を体感することで、関係人口の拡大にはつながっている。

【参加実績（令和3～令和6年度）】

参加者：10名 リピーター：1名 移住者：0名

【参加実績（令和6年度）】

参加者：3名

就労内容・イベント内容

（農業）

シシトウの栽培・収穫、野菜の梱包発送作業
ポンカン畑の手入れ作業、ポンカンの収穫作業

（サービス業）まちかどギャラリーの運営補助
業務、情報発信、イベント等の補助業務



参加者の声

○ すさきまちかどギャラリーの運営補助業務をととして、須崎市の文化、芸術及び地域の歴史についての理解が深まったとともに、須崎市民を含む来場者の方との交流を図ることができた。須崎市内でのイベントへ参加や手伝い、自身で食事会を企画したことをととして、地域の方々との交流を広げることができた。須崎市での滞在をととして体感した須崎市の魅力や須崎市での暮らしを、自身のSNSで紹介した。
（30代・女性）

○ 2週間の滞在ではあったが、客としてではなく須崎に暮らしに来た者として日々を過ごすことができ、貴重な経験となった。街にはスーパーやドラッグストア、産直市場など生活に身近な施設が充実しており商品も新鮮な魚や野菜が揃っていて、暮らしに便利な街だと感じた。仕事先では今まで知らなかったリュウキュウ、ふうろ豆、茎みょうがなど高知の野菜を知れたり、仕事場で飛び交う土佐弁にも触れたりして、自分の地元での暮らしと比較しながら滞在中を楽しむことができた。アテンドいただいた日には目的地だけでなく移動中の会話でも高知や須崎について知ることができ、視野を広げる時間となった。（20代・女性）



ワーホリで“すくも暮らし”を体験（高知県宿毛市）



基本情報

高知県宿毛市は、人口およそ18,000人、高知県の西南端に位置し、全国どこよりも早く桜が開花する市です。

宿毛湾は魚種も豊富であり、温暖な気候を活かした文旦等の果樹栽培が盛んです。

ほどよい不自由さはありつつ、豊富な自然と旬な味覚、昔ながらの人情に溢れたゆったりと暮らせる場所です。



プログラム

1～2週間程度、働いて収入を得ながら宿毛市に滞在することで、地域の魅力をまるごと体感していただく取り組みです。

宿毛ならではの交流事業や学びの場をとおして、普段の旅行とは一味違った感動を体験していただけます。



成果

- ・事業所の人手不足の解消に繋がった。
- ・旅行とは違って、短期間働いたりイベントに参加する中で、地域住民との交流をすることができた。
- ・イベント「すくも文旦マルシェ」にボランティアスタッフとして参加し、宿毛市特産の文旦に関わることができた。
- 「すくも文旦早むき大会」に参加したり、宿泊先のゲストハウスにて文旦の皮を使ったジャムを作ったり等、すくもでの体験を楽しんでもらうことができた。
- ・宿泊施設への経済効果が発生。

【参加実績（令和6年度）】

参加者：2名

就労内容・イベント内容

【業種】

農業（文旦、いちご）

【仕事内容】

文旦などの収穫・出荷作業、
イチゴの収穫・出荷・栽培管理
など



【交流イベント】

「すくも文旦サニーサイドマルシェ」にボランティアスタッフとして参加



参加者の声

○ イチゴの収穫では、収穫する方の手よりも発泡スチロールを支えている方の手が疲れて筋肉痛になったことに驚いた。仕事内容について、事業所の職員が優しく丁寧に教えてくれた。（50代・男性、女性）

○ 事業所の職員と食事をしに行ったお店の店主と色々話することができて、地元の人と話したり関わりたかったため嬉しかった。（50代・女性）

○ 休日には、蛍湖、もみじ湖、どんぐり湖などにも行くことができ、宿毛市での観光も楽しむことができた。（50代・男性、女性）

○ 宿毛市のことを気に入ったため、また来たいと思っているので相談にのってほしい。（50代・男性、女性）



山と川と海の町でワーキングホリデー（高知県東洋町）



基本情報



高知県東洋町は人口およそ2,200人。高知県の東端で、徳島県との県境にある小さな田舎町。

山、川、海が揃い、「生見サーフィンビーチ」はサーファーの聖地として、年間多くのサーフィン客が訪れる。

就労内容・イベント内容

【業種】

農業、観光業、宿泊業

【仕事内容】

ポンカン農家での収穫・選別・出荷作業、海水浴場で海上アスレチックの運営、ホテルのスタッフ、トマト農家での収穫・栽培作業



プログラム

現在まで、

- ①ポンカン農家での収穫作業
 - ②白浜海水浴場での海上アスレチック運営
 - ③ホテルでのスタッフ
 - ④オーガニックトマト農家での栽培作業
- 上記3つの募集を行ったことがある。

どれも最短1週間～最長2ヶ月滞在可能で、町から宿泊費の補助もあり。（3,300円／1日×30日までが上限）

日常では体験できない仕事で地元の人や様々な人と関わりたいと思っている人や、移住する前に田舎での暮らしを体験したい人にとっても適したプログラムとなっている。

成果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、移住した人もいる。また、ワーホリに複数回参加してくれている参加者もいる。参加者や地域の人や学生などの関り、また参加者同士でも交流を図り、体験が充実したものとなっている。

【参加実績（令和3～6年度）】

参加者：55名 移住者：2名
令和6年度参加者：19名

参加者の声

- 楽しいことばかりでなく農業は大変だということを知れた。達成感や果実のにおいや自然を感じながら充実して仕事できた（20代・女性）
- 高知県で好きで興味があった。住みやすくおいしい食材が沢山あった（20代・男性）
- 馬路村でのワーキングホリデーも体験した。同じ県内でも風土や文化が違うことが新鮮で発見であった。（50代・女性）
- 自然が豊かで海がきれい（20代・女性）
- 色々な価値観・世代と交流できてよかった。（60代・男性）



人手不足解消と村のファンを作る～参加者と事業者のwinwinな関係を～（高知県馬路村）



基本情報

高知県馬路村は、人口およそ800人、高知県東部の山間地域。

村の96%が森林でその大半が県木であるやなせ杉に囲まれた自然豊かな村。「柚子の村」としても全国に知られ、ぽん酢しょうゆやゆずドリンクなどが都市圏でも流通しています。

プログラム

馬路村のプログラムは、

- ①【ゆずの収穫】収穫体験を通して、体を使い自然の中で農業の体験ができる。
- ②【馬路温泉】馬路村内の観光宿泊施設では、接客やコミュニケーション能力を養うことができる。
- ③【キャンプ場の運営】山奥の中、非日常を味わいながらキャンパーとの交流や薪割りなどの体験ができる。

※3つのプログラムから、期間や仕事内容を考慮し馬路村での体験が選べ、地域住民との交流も行える。

成果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者が馬路村に興味を持ち、後に訪れる方もいる。

観光、ふるさと納税、馬路村特別村民への登録、馬路村役場・農協などのSNSのフォロー、ワーホリ中の画像提供をしていただき今後のHP等への掲載に活用、大学卒業論文のために再来訪、移住フェアの参加、地域住民との継続的交流などワーキングホリデーの枠を超えた関係人口の拡大につながっている。

【参加実績（平成29年～令和7年3月末）】

参加者：**121名**

リピーター：**15名**（※） 移住者：**4名**

（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に、馬路村を訪れた人数
うち令和6年度参加者：19名



就労内容・イベント内容

【業種】①農業

②飲食業、宿泊業

③観光業、キャンプ場運営

【仕事内容】①ゆず収穫作業

②レストランホール補助

③キャンプ場清掃・薪割り等

【イベント】村内イベントとして、森林間伐体験やゆず絞り体験、料理教室、お花見や交流会などを実施。ワーキングホリデー中に希望者には移住相談も受けた。



参加者の声

〇迷っているなら絶対に参加したほうがいいです！
ここでの2週間の経験はなにものにも代え難い経験になります。何より個性豊かなメンバーに出会うと虜になると思います。ぜひ、ワーホリへ！
（20代 女性）

〇馬路村の歴史や自然、村民方達や他のワーホリさんとの交流、馬路村でしか味わえない魅力が沢山詰まった濃い内容になってます。自然の魅力を肌で感じ取れ人とのふれあいで心も暖まる最高のワーホリです。（30代 女性）

〇とても穏やかな馬路村で、朝目覚めて、太陽の下で柚子を収穫して、農家さんや仲間と楽しくおなはしして、しっかりと疲れて、ご飯をもりもり食べて、ゆっくりと眠る。とっても心地よい暮らしをワーキングホリデーですることができました！
（20代 女性）



【ゆずの収穫】



【馬路温泉】



【キャンプ場の運営】



【交流会】

あなたを一本釣りしたい。～第二のふるさとへのプチ移住～（高知県中土佐町）



基本情報



高知県中土佐町は、高知県の真ん中に位置する人口およそ6千人の町。

黒潮踊る太平洋、清流四万十川、緑豊かな山野といった自然環境に恵まれた町で、その景観は、国の重要文化的景観にも選定されています。

就労内容・イベント内容

【業種】

農業

【仕事内容】

土づくり、定植作業、収穫、出荷準備
来シーズンに向けたハウスの準備など



プログラム

- ①想いを持って働き、暮らしている「ひと」と出会う
- ②地域の「なりわい」を通じて、先人の知恵を学ぶ
- ③交流を通じて、「町の魅力」「町の課題」「町をより良くするため手がかり」を考える
- ④中土佐町ならではの「人と人の距離感」を体感し、移住のきっかけづくりとする

参加者の声

○農業に携わることが今までなかったので、全てが新鮮でした。作物を育てるには徹底的な管理や細かい作業が必要だと知り、改めて毎日当たり前に食べているものに感謝をしたいと思います。また、農業だけでなく、ワーホリの取り組みや地域のイベント参加など、社会や地域に還元することに多く取り組んでいるのが印象的でした。（23歳・女性）

○町の規模の小ささゆえに感じられる絆やコミュニティ意識がとても印象的でした。自分自身、海外を転々としてきたため「故郷」や「居場所」と呼べる場所がありません。そのため、ひとつの土地に根ざした皆さんのつながりや愛着を感じ、とても羨ましく思いました。また、街歩きを通じて地方過疎化の現状を初めて目の当たりにし、日本全体の未来やあるべき姿について深く考えさせられました。（23歳・女性）



成果

地域の方や参加者同士の交流により、体験が充実したものとなっており、参加者と地域に相乗効果を生み出している。

参加者が町へ愛着を感じ、「第二のふるさと」として再訪されたり、都内で開催したファンミーティングのスタッフとして参加されるなど、関係人口の拡大にも寄与している。

【参加実績（2019～2024年度）】

参加者：20名（R1:5名 R3:5名 R4:1名 R5:7名 R6:2名）
関係人口名簿登載者20名

ふるさとワーキングホリデー（高知県四万十町）



基本情報



人口 **14,915人**
(令和7年1月末住民基本台帳人口)

集落の多くは四万十川とその支流の河川沿いや台地部にあり、一部は土佐湾に面した海岸部にある。
台地部には広大な農地が広がっているが、町域の多くは山林が占めている。

プログラム

【 目的 】

県外に在住している方に、四万十町へ一定期間滞在してもらい、働きながら、町内での生活体験や地域住民との交流等を通じて、UIターン就職に向けた意識を高めるほか、参加者を四万十町ファンから移住関心層へと意識高め、四万十町への移住の裾野を広げることを狙った取り組み。農業の人材不足解消及び関係人口の創出を図る。

【 概要 】

- ・地域での就業体験の類型：雇用契約締結型（受け入れ事業者と）
- ・受入人数：5人
- ・滞在期間：14日の予定（13泊14日）
- ・対象者：14日の受け入れや最低賃金、労災保険料・雇用保険料の支払いが可能な農家

成果

【 受け入れ実績 】※R6年度開始

R6：5名 → **1名移住（R6.7）**

【 受入農家からのリアクション 】

- ・ワーホリから雇用に結び付けることができた
- ・参加者に教えることでスタッフの良い刺激になる
- ・人手不足の解消になり助かった



就労内容・イベント内容

【 業種 】

- ・農業

【 仕事内容 】※一例

受入事業者A

①露地有機野菜・水稻の栽培管理（5～9月）

生姜・里芋の芽出し→土寄せ、施肥、被覆作業、葉面散布、草刈などの農地内管理のお仕事 ※水稻の収穫は9月に実施。

②露地有機野菜の収穫作業（10～12月）

※10月前半は収穫の準備作業、収穫は中旬以降

③お米の乾燥・もみ摺りの管理作業の助手

④県内販売会・展示会への参加（※参加希望の方は要相談）

【雨天時】

⑤生姜・里芋などの野菜の出荷調整のお仕事

⑥会社・倉庫・周辺の清掃作業

受入事業者B

①【晴天時】ピーマン収穫・出荷選別作業、生姜やその他の野菜圃場の作業など。

②【雨天時】ピーマン収穫出荷、生姜出荷作業など。



参加者の声

【 参加者 】

- ・楽しく過ごすことができた
- ・農家さんの丁寧な説明や穏やかな雰囲気づくりのおかげで安心して作業に取り組めた

【 ▲改善点 】

- ・四万十町周辺の情報があればよかった

大月町ワーホリで出会い、働き、暮らす 2 週間 (高知県大月町)



基本情報



大月町はココ！

高知県大月町は、人口およそ4,400人、高知県西南端の町。

西に豊後水道、南に太平洋と海に囲まれた形をしており、内陸部は標高465mの大洞山を囲む山林が町の約7割を占めています。

主に農業や漁業が盛んで、季節ごとの新鮮な食材が食卓で楽しめます。

プログラム

- ①大月町で想いをもって働き、暮らしている「ひと」と出会う。
- ②日常では体験できない就労企業の一員として活動し、企業と一緒に盛り上げる。
- ③自然いっぱいの大月町での暮らしを楽しみ、参加者同士や地域の人とコミュニケーションをとる。

このような体験から、参加者が感じたことをふりかえり自分の日常につなげる、大月町の魅力を知りファンになってもらう、ということを大切に、企画をつくっている。

成果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者等が大月町に興味を持ち、また訪れたいという声が多い。

参加者同士の交流や地域の人との関わりを通じ、体験がより充実したものになり、地域の活性化にも繋がっている。

昨年から開始した本事業だが、町内事業者における繁忙期の出人不足解消と町の関係人口の拡大に寄与している。

【参加実績（令和6年度）】

参加者：9名

就労内容

観光業

- ◆ 宝石のような海がすぐそばに
/キャンプ場運営スタッフ
- ◆ ライセンス取得も可能
/美しい海でダイビング補助
- ◆ 美しい自然を守り伝えていくために
/里海づくりのお手伝い
- ◆ パノラマビューの絶景を満喫！
/グランピング施設スタッフ

農業

- ◆ 12,000本のみかんの木がある農場
/おいしいみかん作りをお手伝い

製造業

- ◆ 地域の伝統菓子「ひがしやま」作り

交流イベント

大月まつり、移住者交流会

参加者の声

- 一緒に働く皆さまがとても明るく楽しく、優しい方々ばかりで本当に居心地の良い環境だった。実際に来てみないとわからなかった、ひがしやまの作り方や地方の生活、方言なども知ることができ、面白かった。（40代・女性）
- 普通に生活をしているだけでは触れられなかった、自分と異なる生き方をしている人達と出会うことができた。今後の生き方の選択肢が増え、解像度が高くなり、自分にとっては大変貴重な経験だった。（20代・女性）
- 大月町という全く訪れたことがなかった町に自分ひとりで住み込み働いてみて、現地のたくさんの人と交流できたことが良かった。役場の方も職場の方も皆さん気さくで、来る前の不安感や緊張感といった気持ちを吹き飛ばすことができた。（20代・男性）



沖縄でプチ移住生活してみませんか？（沖縄県）



基本情報

冬でも10℃を下回らないほど温暖で過ごしやすい沖縄。沖縄県ふるさとワーキングホリデーは、離島を含む沖縄県の北から南まで23市町村・57事業者で幅広く展開しています。自然を満喫できるのはもちろん、昔ながらの文化や風習が色濃く残る本島北部・離島地域では、地域の温かい歓迎を受けるのも魅力。



プログラム

沖縄県内の事業者と雇用契約を結び、一定期間（15日～30日）収入を得ながら滞在し、沖縄の自然や文化に触れながら、交流や暮らしを体験します。

- ・滞在費補助(1泊4,000円上限)
- ・レンタカー代補助
- ・体験プログラムの参加費一部補助
- ・地域ナビゲーターが滞在をサポート(離島・過疎地のみ)

成果

【参加者実績は平成30年～令和6年度末見込み】

参加者：230名 移住者：47名

【令和6年度参加者実績】

参加者：44名

事業者が参加者の給与を負担する仕組みのため、慎重に採用を決めることによって事業者側が求める人材とマッチングしやすくなり、移住に繋がった。就職せずとも、繁忙期に戻ってくる「リピータ就業」が各事業所で生まれている。自治体の協力も得ながら長期滞在できる宿泊施設を確保することや、地域ナビゲーターによるサポートも参加者には好評となっている。参加者と事業者や地域の関係が深くなるための様々な工夫により相乗効果が生まれ、移住率は**20.4%**に上る。

就労内容・イベント内容

【業種】

観光業、宿泊業、サービス業、マリンレジャー事業、幼稚園・保育園、介護福祉業、農業、水産業、飲食業、まちづくり事業

【仕事内容】

保育士、看護師、介護士、保健師、マルシェ販売補助、グラスアート体験補助、果物・野菜等収穫、海ぶどう養殖、島らっきょう栽培、食堂、シーカヤックやSUP体験補助、スキューバダイビング体験補助、ホテルフロント業務・清掃業務、行政事務、フェリー船員など

参加者・受入事業者の声

○地元では味わえない離島ならではの魅力が新鮮で、とても刺激になりました。離島の看護、医療について触れることができ今後の人生に大きく影響する貴重な体験ができました。（22歳・女性）

○一緒に働く皆さんが親切に仕事を教えて下さり、充実した毎日を送り、休日には離島にも行けました。就労時間に余裕があり、夕方はウォーキングの合間に二拠点生活のための家を探しや地域の雰囲気を感じたりと本当に助かりました。（60歳・女性）

○冬のマンゴー農園の作業は細かく繊細な葉摘み作業でした。農場のメンテナンス作業もアジアや県外からのスタッフと一緒に取り組み、コミュニケーションもできて貴重な体験でした。（48歳・女性）

○「参加者同士が仲良くなり、内地で何度も会ってそうそう。私達を通して地域の魅力が伝わり、繋がりが広がるのは嬉しいです。（事業者・観光）」

